

目 次

本 編

目 次	頁
1 平成 23 年度 活動方針	2
2 平成 22 年度 事業報告	
① 「はじめまして絵本」事業	3
② ビジネス支援事業	4
③ 地域資源の資産化	5
④ 「よむとす i n いだ」事業	6
◎読みきかせサービス ◎図書館体験プログラム	7
◎読みきかせボランティア講座 ◎講演会	8
◎図書館まつり (第 10 回)	9
⑤ 第 60 回長野県図書館大会	12
⑥ 中央図書館耐震・改修工事	13
3 平成 22 年度 主な事業・行事	14
分館事業報告	16

資 料 編

1 沿 革	20
2 施 設	27
3 職 員	28
4 図書館協議会委員	28
5 利用案内	29
6 予算 (1)当初予算	29
(2)平成 22 年度 決算額一覧	30
7 図書館資料	
(1) 平成 22 年度中の蔵書増加冊数と年度末蔵書数	31
(2) マイクロフィルム	32
(3) デジタル資料	32
(4) 視聴覚資料	32
(5) 障害者用資料	32
(6) 受入新聞および雑誌等逐次刊行物	33
(7) 特殊コレクション	33
8 平成 22 年度 貸出状況	
(1) 館外貸出館別利用状況	35
(2) 貸出年度別統計	36
(3) 年度別障害者用資料利用状況	38
(4) 平成 22 年度 利用が多かった本ベスト 5	38
(5) 利用統計数値 (サービス指針)	39
9 図書館関係団体	40

【平成 23 年度 活動方針】

飯田市立図書館の基本方針及び図書館が目指す 6 か条

飯田市立図書館の基本方針として、だれでも・どこでも・いつでも利用できる市民の図書館として、市民の読書活動を支援し、豊かな人間形成に必要な場であるとともに、市民が求める資料を収集し、整備し、提供することに努めます。

また、飯田市立図書館は市民の課題解決等に役立てる施設・地域の情報提供拠点となるため、次の 6 か条を目指します。

- 1 図書館は市民の求める資料・情報を、的確に速やかに、提供します。
- 2 図書館は生涯学習の中核施設の一つであり、市民が身近に利用できるよう、サービスの拡大に努めます。
- 3 図書館は一人ひとりの暮らしを応援します。心豊かな文化を育む支援とともに、仕事や暮らしに役立つ資料・情報を提供します。
- 4 図書館は子どもたちの心と未来をひらきます。子どもたちの心豊かな成長と、健やかな子育てを応援します。
- 5 図書館は地域の歴史と文化の広場です。郷土資料を収集し、地域資産の保存と継承に努めます。
- 6 読書活動支援計画 [よむとす in いいだ] により、広く読書の普及に努めます。赤ちゃんからお年寄りまでが生涯を通じて本に親しめるよう、関係機関・団体と連携を図り読書環境づくりのための支援活動を推進します。

「飯田市立図書館サービス計画 VIII-2」より

平成 23 年度重点事業

- (1) 「図書館サービス計画」の見直し
- (2) 定住自立圏形成協定に基づき、松川町・高森町とのコンピュータネットワークを構築・運用する。
- (3) 「はじめまして絵本」及び「よむとす in いいだ」事業により、子どもからお年寄りまで生涯を通じて読書活動の支援を推進する。
- (4) 16 分館及び美術博物館・歴史研究所の蔵書データ化により、資料提供の向上を図る。
- (5) 郷土新聞・雑誌等のマイクロ化・デジタル化を推進し、市民の利活用を図る。

「はじめまして絵本」事業

◆ はじめまして絵本事業の概要

昭和 58 年から保健課との連携により、毎月の 7 ヶ月児相談に図書館職員が出向き、親子を対象に絵本の読みきかせや読書案内・本の紹介など行ってきた。平成 13 年 11 月から、当事業の充実を図るため、6 冊（平成 17 年度までは 5 冊）の絵本の中から 1 冊をプレゼントする事業を開始。また、翌 14 年度からはフォローアップとして、2 歳児相談でも絵本に親しむことの大切さについての指導と実演を行う他、乳幼児学級や育児サークル等においても、積極的に読みきかせや読書案内・読書相談等を行っている。

最初に絵本を受け取った子どもが 2 歳を迎えた平成 15 年度には、絵本がどのように利用され、どんな効果があったのか等の実態調査を 2 歳児相談に併せて実施、また平成 20 年度には、絵本プレゼントが家庭での読書推進や子育て支援にどの程度繋がっているか等、当事業の有効性・必要性及び今後の事業のあり方を明らかにするため、飯田市全保育園 3 歳児保護者を対象にアンケートを行った。

親子が「絵本」を通し共に楽しい時間を過ごすことにより、乳幼児は愛情に満ちた「ことば」を語りかけられて喜びを感じ、感性を磨き、豊かな想像力を育むと考えられている。それはまた、自己肯定や他者を信頼すること、コミュニケーション力の向上へとつながり、子どもが「生きる力」をつける手助けにもなる。

「はじめまして絵本」事業はそれらの礎となる事業として、継続の必要性が実証されたアンケート結果となったと理解している。

◆ 年度別事業参加者数

実施会場：飯田市保健センター・松尾公民館・伊賀良公民館・鼎保健センター

【7 ヶ月児及び 2 歳児相談受診人数と受診率】

年 度	7 ヶ月児相談	2 歳児相談
平成 17 年度	944 人 (97.8%)	1,002 人 (90.4%)
平成 18 年度	943 人 (96.5%)	944 人 (91.5%)
平成 19 年度	944 人 (95.4%)	847 人 (89.0%)
平成 20 年度	962 人 (97.1%)	894 人 (94.3%)
平成 21 年度	915 人 (99.1%)	899 人 (92.4%)
平成 22 年度	896 人 (99.2%)	864 人 (90.7%)

ビジネス支援事業

『地域や市民にとって役に立つ図書館』として「図書館を活用したビジネス支援サービス事業」を進めてきた。

図書館では、市民の暮らしやまちづくりに役立つ資料を収集し、情報の蓄積やサービス体制に加え、さらに情報を収集・閲覧できる環境を整備し、多様なレファレンス（調査・相談）に対応できるよう相談窓口の充実や、関係機関と連携した、ビジネス支援ネットワークの確立を目指している。情報や知識等の側面から市民の経済的自立、地域経済活性化に支援・貢献ができる図書館としての機能の充実に図っていく。



【主な取組の内容】

1. 蔵書の選定・充実

- ・現在ある資料を最大限利用しながら、社会科学・技術・産業関係の図書の選定を進め、経済・産業雑誌、新聞の充実を図る。
- ・村橋勝子氏(社史研究家)より、22年度は全国の社史・社史総合目録など42冊（合計4323冊）の寄贈を受け、社史コーナーを設け、貸出・閲覧を行なっている。資料の活用に必要な件名のデータ入力を順次すすめる。

2. 「調べもの相談窓口」の充実

- ・2階カウンターの、「調べもの相談窓口」に職員を配置し、各種レファレンスに対応している。
- ・検食用データベース「官報情報検索サービス」「G-Search データベースサービス」の活用により、新聞記事検索などに利用された。

【22年度 相談件数】

レファレンス総数	3,257件
調べもの相談窓口	1,589件

3. パスファインダーの作成

パスファインダーとは、ある特定の事柄に関して資料・情報を収集する際に、関連する資料やその探し方を提供するツール。郷土資料、児童資料を中心に11件作成。引き続き作成し、その活用方法についても検討していく。



4. メールによるレファレンスの受付

インターネットを使い資料などの検索をする利用者も増えており、メールによる調査等の受付を始める。HPに案内を掲載。12件のレファレンスに対応した。

5. 講演会等の実施

①『図書館 de ジョブカフェ

～就職活動支援セミナー～』

3月10日(木) 18:30～ 参加者15名

講師：キャリアコンサルタント 園原成和氏

夜間開館にあわせ、受講者の利便性を図る。ジョブカフェによるセミナーは若年者対象であるが、対象年齢を設けず、幅広い年齢層の参加があった。連携により、双方のPRとなった。

地域資源の資産化

地域の貴重な歴史文化資源を市民が利活用できるように、平成 21 年度に引き続き下記の 2 つの事業を緊急雇用創出事業として、県の交付金を受け実施した。

【郷土資料保存事業】

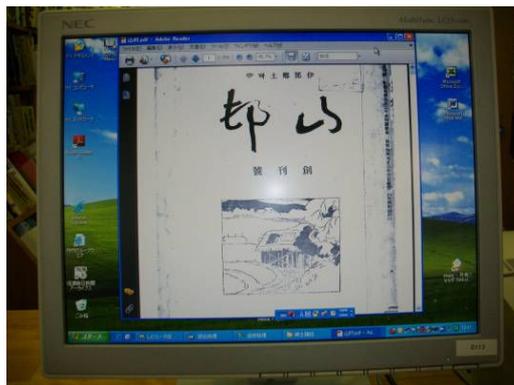
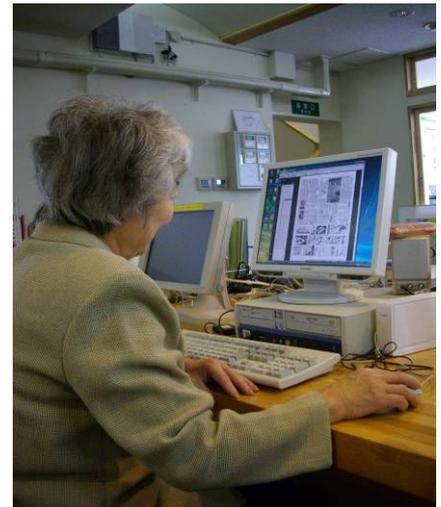
平成 21 年度は、「南信州」はマイクロフィルムからデジタル化を行い、画面上での縮小拡大や、日付およびキーワードでの検索を可能とした。平成 22 年度、『信州日報』を同様にデジタル化し、さらに昭和初期の郷土雑誌 87 タイトルをデジタル化を実施した。これにより市民の暮らしと研究を支援する有効なツールとなった。

1 郷土新聞のマイクロフィルムからのデジタル化

種 別	対象年	撮 影
信州日報	昭和 39 年 8 月 1 月 ～平成 21 年 9 月	55, 772 頁

2 郷土雑誌のデジタル化とマイクロフィルム化

種 別	スキャニング数	マイクロ巻
「あけぼの」等 87 タイトルの郷土雑誌	11, 211 頁	5 巻



【分館等蔵書データ化事業】

市内各 16 分館及び美術博物館・歴史研究所の蔵書データを図書館システムに搭載するための整理作業及び入力作業を平成 22 年度と 23 年度の 2 カ年計画で着手した。財源は重点分野雇用創出事業として 100%交付金で実施する。最初の 1 年目は 6 分館の蔵書約 8.4 万冊のデータ化を実施した。

平成 22 年度 実施館

		蔵書冊数	作業期間	入力冊数 (うち児童書)	
1	下久堅	10,483	11/ 8(月)～11/23(火)	9,658	6,478
2	丸山	12,660	11/22(月)～12/ 7(火)	10,327	6,067
3	羽場	12,840	12/ 7(火)～12/22(水)	10,154	5,876
4	竜丘	18,479	1/ 4(火)～ 1/25(火)	15,304	8,898
5	伊賀良	22,590	1/25(火)～ 2/23(水)	21,202	12,510
6	松尾	22,235	2/23(水)～ 3/18(金)	16,841	10,545

合計 83,486 冊

「よむとす i n いだ」 事業

平成 14 年 4 月から今日まで行ってきた読書活動推進事業のすべてを「よむとす i n いだ」と名づけ、保健課との協働事業“はじめまして絵本事業”“いきいき教室”をはじめとして、あらゆる年代層に向け図書館利用体験・図書館資料体験・図書館業務体験や児童・生徒への講座・読書団体への支援などを行い、読書活動推進・図書館利用促進を図る事業。

主な取り組み内容

- 1 図書館業務体験（中・高・大学生等の職場実習）…45 件 延べ 137 人
キャリア教育の一環として、次代を担う生徒・学生にカウンターや整理業務、障害者サービスの体験をする場を提供。
- 2 図書館利用体験（図書館見学と利用説明会）…91 件 延べ 2,155 人
自主的に調べ考える力・豊かな本との親しい出会いのために学校等と連携して実施。
- 3 図書館資料展示会・解説会等（貴重資料等展示）
地域の貴重な資料等を多くの市民に提供し、ふるさと意識の醸成にもつなげるよう実施。
(1) 特殊コレクション展『飯田の出版文化』 平成 22 年 9 月 25 日（土）～10 月 3 日（日）
国民読書年にちなみ、飯田の出版文化と出版人にスポットをあてた展示を行い、職員による展示説明会を開催した。（「第 10 回図書館まつり」参照） 延べ 167 人参加

↓ 展示「飯田の出版文化」 ↓



「日夏歌之介」資料展示 ↓



(2) ミニ展示

美術博物館の催しにあわせて日夏歌之介著作等を紹介した展示を中央館にて、太陽光発電やリサイクル等の環境に関する展示を中央・鼎・上郷館それぞれで行なった。また日常的に平置き書架等を使ってテーマ本展示を行い、利用者の方に手に取っていただくよう工夫をしている。

- 4 図書館まつり 参加者（映画会・読書会・講演会など）11 件 延べ 917 人参加
本や図書館に親しみ読書の輪を広げるために、市民と協働で実施。
- 5 児童・青少年・高齢者・障がい者及び多文化サービス事業を実施。
児童・青少年への読みかかせや講座開催、いきいき教室（保健課の事業への協力）による高齢者への読書普及、ボランティアグループ作成の声の本を視覚障がい者へ貸し出し、外国語図書コーナーの運営など。図書館主催各種行事等に延べ 23,592 人の人が参加し、本の楽しみに触れる機会を持った。

◎読みきかせサービス（中央・県・上郷図書館実施分）

	館内実施		館外実施	
中央図書館	お楽しみ会 育児サークル等 小学校 その他	46回（815人） 5回（112人） 7回（186人） 1回（45人）	7ヶ月乳児相談 （旧市・伊賀良） 2歳児相談 （旧市・伊賀良） その他（乳幼児学級ほか）	24回（331人） 16回（361人） 8回（205人）
県図書館	お楽しみ会 親子お楽しみ会 育児サークル等 幼・保育園読み聞かせ 県小・中学級招待 その他	50回（371人） 11回（140人） 4回（62人） 42回（915人） 20回（643人） 2回（51人）	7ヶ月乳児相談（県） 2歳児相談（県） 保育園お話し会 乳幼児学級等 いきいき教室	12回（196人） 10回（204人） 43回（1,504人） 4回（155人） 5回（45人）
上郷図書館	定例お話し会 特別お楽しみ会 育児サークル等 上郷小学校お話し会 絵本・児童書講座 その他	37回（499人） 4回（195人） 3回（77人） 4回（124人） 20回（239人） 1回（15人）	7ヶ月乳児相談 （上郷・松尾） 2歳児相談 （上郷・松尾） 保育園訪問 子育てサークル等 上郷・浜井場小読書旬間 いきいき教室	23回（369人） 19回（401人） 24回（1,800人） 6回（209人） 22回（763人） 6回（76人）
合計	257回 （読み聞かせ体験者延べ4,489人）		222回 （読み聞かせ体験者延べ6,619人）	

◎図書館体験プログラム

目的：図書館と資料を理解してもらうための、図書館体験プログラムを推進する。

各種プログラムの体験を通じて、図書館により親しんでもらい、読書を楽しみ、生涯にわたる図書館利用の基礎をつくる。

対象：小学生・中学生・大学生・一般

（単位：件・人）

プログラム名	中央		県		上郷		合計	
	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数
資料整理業務体験	5	15	5	11	13	42	23	68
利用サービス業務体験	4	13	5	14	13	42	22	69
図書館利用体験	7	186	66	1,620	9	280	82	2,086
障害者サービス体験	1	2	5	6	0	0	6	8
特殊資料ミニ講座	1	10	0	0	0	0	1	10
子どもの本ミニ講座	0	0	2	51	0	0	2	51
合計	18	226	83	1,702	35	364	136	2,292

◎読みきかせボランティア講座

当講座では、読みきかせボランティアの養成及びスキルアップのための支援を行っている。

読みきかせボランティアにより、多くの幼稚園児・小学生・乳幼児などへ読みきかせを行い、児童の読書活動普及の推進を図る。

- 1 目的：子どもへの読みきかせが多く求められるなかで、現在活動されている方が長く活動できるように、また、ボランティアの裾野が広がるように、読みきかせの原点を確認する内容の講演会形式の講座を開催した。
- 1 会場：飯田市立上郷図書館 2階 視聴覚室
- 2 定員：各講座 40 名

	日 時	読み聞かせ対象	講 師	出席人数
①	5月16日(日) 13:15~15:00	保育園児・幼稚園児	南信こどものとも社 坂本 勇氏	40名
②	6月12日(土) 13:15~15:00	小学校低学年	図書館職員	30名
③	7月3日(土) 13:15~15:00	小学校高学年	ちいさいおうち 越高 一夫氏	34名

計 延べ104名

◎講 演 会 (講演会主催：子どもの本研究会)

子どもの読書普及活動として、子どもの本研究会による講演会を行なった。読みきかせボランティア、教師や保育士、子どもと本に関心のある方、講師の絵本に魅せられたお母さんたちなどが受講。

あべ弘士講演会 参加者 72人

演題「地球はどうぶつでいっぱい」

3月12日(土) 10:00~12:00

動物を題材にした絵本やエッセイを多数出版されている講師から、旭山動物園飼育係として勤務していた時の体験談、その経験が生かされた自身の動物の絵や絵本づくりについてお話いただいた。



◎ 図書館まつり（第10回）

- 1 実施期間 平成22年5月29日～10月30日
- 2 実施会場 中央図書館・鼎文化センター・飯田市公民館
- 3 内容と実績

実施項目	開催日時	内 容	当日入場者
文学連続講座 全4回 会場：中央図書館研修室	第1回 5月29日（土） 13：30～15：10	古典、近代、現代そして同時代の文学も、専門的に教えていただくことで、読書の幅が広がる。国民読書年の中でさまざまな先生に講演をしていただく。 「徒然草第2講座 ～兼好の人間描写～」 講 師 吉澤貞人先生	51人
	第2回 6月13日（日） 13：30～15：30	「源氏物語 ～おんなたちの世界～」 講 師 堀井正子先生	65人
	第3回 7月17日（土） 13：30～15：10	「病床六尺のささやかな空間で行きぬいた 子規の生死観」 講 師 中 繁彦先生	59人
	第4回 8月28日（土） 13：30～15：30	「村上春樹の世界」 講 師 熊谷裕子先生	39人
池澤夏樹読書会 会場：中央図書館研修室 13：30～15：00	第1回 5月14日（金）	講演会の講師の池澤夏樹の幅広い作品を通して、池澤夏樹にとっての小説を書くということ、本を読むということなどについて、事前勉強をした。書評・エッセイ・小説など参加者全員で群読をするなど、作品と人について深く学ぶことができた。	20人
	第2回 5月27日（木）		16人
	第3回 7月30日（金）		25人
映画会「なつかし名画 トクトクまつり」 （優秀映画鑑賞推進事業） 『裸の島』 『煙突の見える場所』 会場：鼎文化センター	9月4日（土） 13:00～14:40 14:50～16:40	鬼才・新藤兼人監督が「生きる」とはを問いかける、全編セリフなしの名作「裸の島」。 椎名隣三の「無邪気な人々」を原作とする、戦後の日本を生きる庶民の悲喜こもごもを描き出した、五所平之助監督の代表作。	251人 チケット 販売数 385枚
特別資料展 「飯田の出版文化 ～その源流をたどる～」 展示説明会 会場：中央図書館研修室	9月25日（土） ～10月3日（日）	信州は昔から地方出版の盛んなところだといわれている。2010年、国民読書年開催の図書館まつりでは、飯田の出版文化について、主に戦前の出版物や出版人を取りあげた。 雑誌、新聞、パネル等の展示、データ化された郷土雑誌の閲覧など。 ・郷土誌『伊那』と原田島村 ・『深山自由新聞』と森多平 ・大正時代の伊那谷と文藝雑誌『夕樺』 正夫	167人
	9月26日（日） 13:30～14:30		10人

実施項目	開催日時	内 容	当日入場者
「池澤夏樹」講演会 「読む喜び」 ～ぼくが書いてきた小説と、 編集した『世界文学全集』 をめぐって～ 会場：飯田市公民館ホール	10月2日(土) 13:30～15:30	自身編集による『世界文学全集』(河出書房全24巻)にふれながら、作品選考のポイントとして、旧植民地で生まれた文学と、女性が書いた文学をあげた。読書体験や、世界との関わり、40年前に携わった日夏耿之介全集についてや来飯の思い出などについてもの静かに、淡々と語った。 終了後、サイン会も行い、盛況であった。	312人 チケット 販売数 377枚
飯田・下伊那読書会交流会 (第60回長野県図書館大会) 会場：飯田文化会館	9月30日(土) 13:00～16:10	第4回となった今年度は、飯田市で開催された長野県図書館大会・読書会分科会において県下各地より参加の読書会グループと意見交換と交流を行った。	40人
文章講座同窓会講演会 「介護における 聞くことの大切さ」 講師 端田 篤人 会場：中央図書館研修室	7月4日(日) 13:30～15:10	講師の父は、「花嫁」などの数多くのヒット曲を出したハンダノリヒコさん。 父上との介護の実体験をふまえた講演。講師は、「傾聴ボランティア講座」の講師もつとめている。	30人
合 計			1,075人

4. 前回までの内容(概略)

第1回(平成13年11月30日～12月7日)

講演会	特殊コレクション展	利用者団体企画	パネル展
講師：谷川俊太郎 斉藤 惇夫 テーマ：「詩の世界 こどもの世界」	堀家蔵書より 「本草図譜」 「三国通覧図説」	作品展(8団体) 発表会 ・声の輪「こころのはあもにい」 ・婦人文庫「わらべうたを歌う」	「マザーグースの わらべうた」

第2回(平成14年12月6日～8日) / 映画会(12月7日)「天国と地獄」「野菊の如き君なりき」「生きる」

講演会	特殊コレクション展	ミニ講座	ミニ講座
講師：小澤俊夫 テーマ：「昔話が語る 子どもの姿」	堀家蔵書より 「主図合結記」「広恵濟急方」 「解体鍼要」「有用植物図説」 「尚古鑑色一覧」	手作り絵本の会製本講習 「あなただけの本を 作りませんか」	文章講座 「楽書のすすめ」

第3回(平成15年12月2日～12月7日) / 映画会(10月25日)「血槍富士」「浮雲」

講演会	特殊コレクション展	ミニ講座	中学生との読書会
講師：子安美知子 テーマ：「子どもの心を育てるシユタ イナー教育」	堀家蔵書より 「都名所図絵」「古今名物 類從」「集古十種」	手作り絵本講習会 前年好評につき、 第2回目実施	夏目漱石「坊ちゃん」を 世代を超えて読み合う 中学生22人、一般33人参加

第4回(平成16年11月30日～12月5日) / 映画会(9月3日)「伊豆の踊り子」「二十四の瞳」

講演会	特殊コレクション展	利用者団体企画	高校生との読書会
講師：子安美知子 テーマ：「頭で読むこと 心で読むこと」	堀家蔵書より 「日本名山図絵」「草木育種」 「庭造かき根一覧」「ももし き」「禁裏新御殿造営記」	コラボレーション 文章講座・紅まんさくの作 品を声の輪会員が朗読	婦人文庫が高校生と「破戒」を 読む。高校生6人を含む37人が 参加

第5回(平成17年11月26日～12月4日) / 映画会(9月3日)「キューポラのある町」「けんかえれじい」

講演会	特殊コレクション展	利用者団体企画 等
講師：藤原正彦 テーマ：「祖国とは国語」 ～日本の再生は 国語力にかかっている～	堀家蔵書より「海上砲術全書」 「かさねのいろあひ」「温泉考」(新) その他過去に展示した「本草図譜」等 3点を中央で、「都名所図絵」を鼎で、 「解体鍼要」等2点を上郷でそれぞれ 分散展示	ミニ講演会 特殊コレクションについてのミニ講演会を利用者団体 の希望により企画、滝本係長が講演した ※過去に展示した特殊コレクションの中から5点を選び 小学生にもわかりやすく解説を加え図書館体験プログ ラムとしての取り組みを3館で行った

第6回 (平成18年11月25日～12月3日) / 映画会 (9月2日) 「近松物語」「雨月物語」

講演会	特殊コレクション展	利用者団体企画 等
講師に河合隼雄氏を予定していたが、病気療養のため中止。 河合氏の著作『こころの扉を開く』の読書を3回実施	堀家蔵書より 文房具の図録集「古図類従」(新) 「古今名物類従」「集古十種」	コラボレーション 「文章講座」の作品を、「声の輪」が朗読 ミニ講演会 「飯田図書館のお宝とあゆみ」 講師：瑠璃寺住職 (元図書館係長)

第7回 (平成19年11月24日～12月2日) / 映画会 (9月8日) 「また逢う日まで」「野火」

講演会	特殊コレクション展	利用者団体企画 等
講師：柳田邦男 (ノンフィクション作家) テーマ：「読むことは生きる力に」 ～死にたくなったら 図書館に行こう～	市制施行70周年記念事業 「飯田の講師 竹村浪の人」 ・浪の人の思い出を語る会 ・浪の人展示説明会 ・『竹村浪の人講談集Ⅰ・Ⅱ』出版 ・『竹村浪の人講談集』CD出版	読書会 3回 テキスト：『「人生の答」の出し方』柳田邦男 著 第1回 飯田下伊那読書会交流会 飯伊婦人文庫編『みんなとだから読めた』の出版を記念して、聞き書きした幾つかの読書グループから発表。

第8回 (平成20年9月21日～11月29日) / 映画会 (9月6日) 「怪談」

講演会	特殊コレクション展	利用者団体企画 等
講師：堀井正子 テーマ：「銀河鉄道の夜」 ～ジョバンニの切符と カンパネララの切符～ *中央図書館にて開催	三遠南信地域資料展 (巡回展) 「その後の風林火山」 「飯田下伊那の通信遺産―信玄の狼煙台―」 ・展示説明会 ・歴史講座 「武田今川徳川の三つ巴の戦い」 講師：鈴木博 氏 「長篠の戦い」は信玄・信長の金と銀の戦い 講師：横山良哲 氏 ・実践報告「三遠南信の交流について」 発表者：ゆかいな仲間たち	読書会 1回 テキスト：『銀河鉄道の夜』宮沢賢治 著 第2回 飯田下伊那読書会交流会 8グループが参加 夢のコラボレーション 文章講座OBの作品を「声の輪」会員の朗読で楽しむ。

第9回 (平成21年8月25日～11月14日) / 映画会 (9月6日) 「にぎりえ」「あすなる物語」

講演会	特殊コレクション展	利用者団体企画 等
講師：加島祥造 テーマ：「加島祥造の詩の世界」 ～私が日夏耿之介の弟子として 生き残っている唯一人 だと思ふ～ *中央図書館にて開催	「郷土を守り育てた人々」 展示説明会 明治～昭和初期にかけて郷土の発展に 尽力した7人の先人 (山本長左衛門・竹 村順一・櫻井文七・坂田亀吉・伊藤大八・ 伊原五郎兵衛・川村カネト) を取り上げ た。その功績と、図書館が所蔵している 資料をもとにパネルにまとめ、書簡など の生資料や図書館蔵書とともに展示	「日夏耿之介知る会」 講師：松岡耿介 氏 織田学芸員 「加島祥造と日夏耿之介の詩を楽しむ会」 講師：加島裕吾 氏 「加島祥造墨彩画展」 文学連続講座 講師：熊谷裕子 樋口一葉「われは女なりけるものを」 飯田下伊那読書会交流会 地元8グループと、豊橋市・中津川市から参加があり 20グループの参加。 夢のコラボレーション 文章講座OBの作品を「声の輪」会員の朗読で楽しむ。 地元の人々の生活に根ざした情感あふれる世界 に浸った。

池澤夏樹講演会 平成22年10月2日



文学連続講座 熊谷裕子先生 平成22年8月28日

第 60 回長野県図書館大会

長野県図書館大会は県内持ち回りで行っており、平成 22 年度 第 60 回長野県図書館大会は、飯田市が開催地となった。今回の飯田大会は「読書会」「読みきかせボランティア」などの分科会を設けたことにより一般の参加者が約 140 人と例年になく多く参加された。また、「弁当持参・ごみの持ち帰り」運動を行い、環境にやさしい大会として特色ある飯田大会となった。

- 1 期 日 平成 22 年 10 月 30 日 (土)
- 2 場 所 飯田文化会館、飯田東中学校
- 3 参加人数 講演会 889 人 分科会 657 人
- 4 大会テーマ

国民読書年を機に、豊かな心を育み、学びを支える図書館の可能性を考えよう！
～さらなる家庭・学校・地域との連携を広げよう～

5 基調講演

演題：おひとりさまで大丈夫
～つながる楽しみ、読むよろこび～
講師：上野 千鶴子 氏
(東京大学文学部大学院教授)



6 分科会

分科会名	テ ー マ	参加人数
第1分科会	市民参加の図書館づくり	35
第2分科会	課題解決支援サービス	30
第3分科会	利用者と共に歩む録音図書の在り方～よりよい録音図書をつくるには～	41
第4分科会	絵本の世界を楽しむ	51
第5分科会	司書教諭の仕事～司書教諭としての第一歩～	36
第6分科会	司書教諭と学校司書～個の学びを支援する司書教諭と学校司書～	38
第7分科会	学校司書の仕事～ 障壁で使えぬ図書館 を目指す日々の実践から～	48
第8分科会	読書指導の実践	76
第9分科会	利用指導の実践	41
第10分科会	学校図書館の運営	46
第11分科会	魅力ある学校図書館づくり	33
第12分科会	大学図書館と公共図書館との地域連携	24
第13分科会	子どもの成長に合わせた本を選んでみよう～読書ボランティアとして～	40
第14分科会	地域の心を育てる読み聞かせボランティア	75
第15分科会	みんなとだから読める～読書会で今を生きる力と喜びを～	43
	合 計	657



中央図書館耐震・改修工事

現在地へ全面改築し、昭和 56 年 7 月 5 日に開館した飯田市立中央図書館は、平成 22 年までの 29 年間大きな改修等行うことなく開館してきたが、新耐震基準（昭和 56 年施行）施行前の建物で、耐震診断の実施と、蔵書の増加に伴う書庫の狭隘化が数年来の大きな課題となっていた。

平成 21 年度に地域活性化・経済危機対策臨時交付金を活用して耐震診断が実施され、新耐震基準をクリアしていたため、22 年度に落下防止に重点を置いた耐震補強工事及び館内改修工事、移動式書架の設置などを行った。

平成 22 年 10 月 18 日（月）から 11 月 30 日（火）まで休館して集中工事を実施。その間、利用者の皆様には鼎・上郷図書館をご利用いただくような体制を整えた。12 月以降は開館しながら工事を継続し、平成 23 年 3 月 25 日に全ての工事が完了した。

工事の概要

○平成 21 年度中央図書館耐震補強工事（21→22 繰越明許 66, 150 千円）

総事業費 73, 469 千円（地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業）

平成 21 年度 耐震診断及び実施設計 7, 319 千円

平成 22 年度 耐震補強及び改修工事 66, 150 千円

工事内容

外壁改修、下屋屋根改修、1 階床フローリング改修、トイレ改修（1・2 階）、事務室改修、3 階会議室改造、書庫内移動式書架設置、防火戸改修、電気配線他電気工事 他

○平成 22 年度中央図書館施設改修工事

総事業費 24, 973 千円（一般財源）

工事内容 エアコン改修、書庫内移動式書架設置、録音室設置 他



1 階フローリング全面張替



書庫へ移動式書架設置

平成22年度 主な事業・行事・その他

	中央図書館	県図書館
4月	飯田下伊那図書館協会総会(4/8) 図書館まつり実行委員会(4/16～) 県図書館大会実行委員会(4/23) 声の輪総会(4/28) 図書館ネットワーク研(4/28)	子ども読書の日特別おたのしみ会(4/15・17) 県幼稚園おはなし会開始(4/16～)
5月	婦人文庫 読書会交流会(5/9) 婦人文庫 池澤夏樹読書会(5/14・5/27) 追手町小学校読み聞かせ(5/19) 図書館大会運営委員会(5/20) 飯伊婦人文庫総会(5/23) 文学連続講座(5/29)吉澤貞人先生	県小学校学級招待開始(5/25～) 県声のボランティア総会(5/15)
6月	文学連続講座(6/13)堀井正子先生 第1回図書館協議会(6/18) 手作り絵本講座(6/19) 飯田町文学碑散歩(6/26) 手作り絵本巡回展(6/26・27)	パステル和アート(6/5) 県声のボランティア利用者交流会(6/12)
7月	婦人文庫豊橋読書会交流会(7/2) 文章講座同窓会講演会(7/4) 図書館大会実行委員会(7/9) 文学連続講座(7/17)中繁彦先生 ちょうちよワークショップ(7/18)	七夕おたのしみ会(7/24) 県声のボランティア研修会(7/10)
8月	美博まつり(8/1)ブース出店 飯田下伊那図書館協会研修会〔製本〕(8/2) 人形劇フェスタ(8/6～8/8) 地域史研究集会(8/22) 文学連続講座(8/28)熊谷裕子先生	
9月	図書館まつり映画会(9/4) 子どもの本研究会視察(9/10) 文章講座同窓会総会(9/12) 特別コレクション展(9/25～10/3)	
10月	池澤夏樹講演会(10/2) 第2回図書館協議会(10/14) 耐震改修工事臨時休館(10/18～11/30) 第60回長野県図書館大会(飯田市 10/30)	みんなで俳句教室(10/23)
11月	耐震改修工事臨時休館(10/18～11/30)	
12月	特別お楽しみ会(12/4) 干支の折り紙教室(12/18) 図書館大会実行委員会(12/21)	
1月	スペシャルお楽しみ会(1/22)	新年特別おたのしみ会(1/29)
2月	第3回図書館協議会(2/10) 飯田下伊那図書館協会(2/22) 蔵書点検臨時休館(2/26～3/6)	蔵書点検臨時休館(2/22)
3月	図書館deジョブカフェ(3/10) あべ弘士講演会(3/13) スペシャルお楽しみ会(3/26)	パステル和アート(3/26)
定例行事	<ul style="list-style-type: none"> ・おたのしみ会(毎週土曜) ・7カ月児相談での絵本の話 (本庁・伊賀良ブロック・松尾ブロック) ・2歳児相談での絵本の話 (本庁・伊賀良ブロック・松尾ブロック) ・育児サークル等お話し会(年19回) ・コンピュータシステム定例会(4ヶ月1回) ・朗読奉仕養成講座(月1回) ・婦人文庫運営委員会・読書会各種(月1回) ・子どもの本研究会(月1回) ・声の輪学習会(月3回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・おたのしみ会(毎週土曜) ・親子おたのしみ会(毎月第3木曜) ・7カ月相談での絵本の話(県ブロック) ・2歳児相談での絵本の話(県ブロック) ・県小学校学級招待(全学年) ・県幼稚園(月2回) ・殿岡保育園(年7回) ・県東保育園(年11回) ・県幼稚園親子おはなし会(年2回) ・育児サークル等(年8回) ・いきいき教室お話し会(年5回) ・『としょかんの窓』(月1回発行)

上郷図書館	分館	職員研修
小学校・中学校・地区おたより発行	第1回分館長主事会(4/30)	
子どもの読書週間とくべつおはなし会(5/12) 読みきかせボランティア講座(5/16) 高校おたより発行	「子ども読書の日」関連事業各種(4/18～5/23)	デイジー信州研修会(5/28)上田1名 県公共図書館長会議(5/28)坂城1名
読みきかせボランティア講座(6/12) 上郷小読書旬間読みきかせ(8回)	森林講座・伊賀良(6/26)	コンピュータシステムデモ:京セラ(6/16) 県初任者研修会[県立図書館](6/25) 長野3名
読みきかせボランティア代表者会(7/1) 読みきかせボランティア講座(7/3) 夏休み工作教室(7/28) 上郷有線史料目録完成記念事業(7/31) 小学校・中学校・地区おたより発行	木の工作・伊賀良(7/31)	コンピュータシステムデモ:日立・ナカゴミ(7/13・7/21)7名 コンピュータシステム視察・田原他(7/22)6名
		県図書館協会・飯田下伊那図書館協会 製本研修(8/2) コンピュータシステム視察・朝霞他(8/17)5名
高校おたより発行	森林講座・伊賀良(9/29)	子どもの本研究会(9/10)東京2名 公共図書館初任者研修会(9/24)県立長野図書館2名
	第2回分館長主事会(10/5)	県図書館協会図書館専門研修(10/1)長野1名 県図書館大会(10/30)飯田20名
上郷小3年利用体験(4回) 上郷小4年調べ学習(4回)	木の工作 (伊賀良文化祭 11/20)	
冬のとくべつおはなし会(12/15) 上郷小読書旬間読みきかせ(8回) 小学校おたより発行		
環境展示キャンペーン 浜井場小読書旬間読みきかせ(6回) 中学校・高校おたより発行		
環境展示キャンペーン 蔵書点検臨時休館日(2/23,24)		
読みきかせボランティア代表者会(3/3) 環境展示キャンペーン リサイクル工作教室(3/23) 小学校おたより発行		
<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会(毎週水曜) ・こどもの本の会(年10回) ・えほんの会(年10回) ・7ヶ月相談での絵本の話(上郷・松尾ブロック) ・2才児相談での絵本の話(上郷・松尾ブロック) ・保育園おはなし会 座光寺(年5回) <li style="padding-left: 20px;">上郷東(年5回) 上郷西(年6回) <li style="padding-left: 20px;">上郷北(年6回) 上郷南(年3回) ・いきいき教室お話し会(年6回) ・育児サークル等お話し会(年9回) ・文章講座(月1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各分館係会(随時) ・各分館おたのしみ会(随時) ・分館だよりの発行(随時) ・公民館との共催行事(随時) ・公民館地区文化祭参加 ・公民館乳幼児学級 ・保育園おはなし会 ・分館運営方針の地域協議(7月～9月)16回 ・分館研修会(各分館ごと実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童サービス研修会(随時) ・レファレンス研修会(随時) ・図書館サービス研修会(随時) ・郷土資料研修会(随時)

平成22年度 分館事業報告

*〔公〕は公民館・地区との共催行事で読みきかせ等をしたもの
*係会の回数には図書整理、店頭購入等を含みます。

分館名	お楽しみ会、行事など					係会等 回数	その他
	回数	日付	内 容	人数	計		
羽 場	13	4/24	こども読書の日	絵本紙芝居の読み聞かせ	7	332	8
		5/11	0～1歳児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	40		
		5/19	2歳児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	20		
		5/20	3歳児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	20		
		6/26	お楽しみ会	読み着せ、パフェ作り	60		
		7/28, 31, 8/4	いいものを作ろう	トトロの折り紙	40		
		11/7	文化祭〔公〕	古本市	20		
		12/4	クリスマス会	手遊び、ジャンボ紙芝居、面白科学工房の方によるサイエンスショー	80		
		2/12, 19, 26	いいものを作ろう	椿ゴマを作って回そう	45		
丸 山	17	4/24	こども読書の日	読み聞かせ、紙芝居、折紙	9	437	12
		5/18	乳幼児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	46		
		7/3	七夕お楽しみ会〔公〕	(幼児学級との交流) 読み聞かせ、パネルシアター、飾りつけ	41		
		11/13	文化祭お楽しみ会〔公〕	読み聞かせ、パネルシアター、工作 他	31		
		1/22	新春カルタ会	カルタ会	10		
		月1回	丸山保育園	読みきかせ	300		
東 野	6	5/8	こども読書の日	読み聞かせ、工作(獅子頭)	40	333	18
			3歳児学級〔公〕	5/26, 6/9, 7/14, 11/10, 11/24, 12/8, 12/22, 1/12, 1/26, 2/9, 2/23, 3/9 12回	45		
		7/3	七夕	読みきかせ、七夕飾りづくり	40		
		11/6	文化祭〔公〕	古本市	100		
		12/4	クリスマス会	「クリスマスコンサート」ナムナムさん人形劇、清水先生コンサート	45		
		1/29	カルタ会	カルタとり、読みきかせ	43		
		3/5	下沢先生講演会〔公〕		20		
座光寺	6	6/17	2歳児学級〔公〕	読み聞かせ、図書館PR	13	274	5
		7/2	0歳児学級〔公〕	読みきかせ、図書館PR	23		
		7/3	おたのしみ会	J紙芝居、ラミネート加工のしおり、冷たいお菓子作り	23		
		1/22	おたのしみ会	読み聞かせ、カルタ、工作(手袋でウサギを作る)、ネット作り	15		
		2/5, 6	文化祭〔公〕	開館、古本市	200		
松 尾	20	4/24	こども読書の日	お話し会	19	408	5
		7/10	七夕お楽しみ会		50		
		12/4	クリスマスお楽しみ会		64		
			どんぐりクラブ	(年7回)	112		
			いちごクラブ	(年8回)	63		
		2/5, 6	文化祭〔公〕	古本市、工作 (100人以上?)	100		
下久堅	16	5/8	文永寺花まつり	読み聞かせ、紙芝居、地獄絵	38	382	8
		6/7	乳幼児学級〔公〕	料理教室、工作(ピース教室)、臨時開館	23		
		10/9	樹木園見学	見学雨天中止、どんぐり絵、読み聞かせ	10		
		12/19	クリスマスお楽しみ会		91		
		月1回	放課後子ども教室	読みきかせ	220		

分館名	お楽しみ会、行事など					係会等 回数	そ の 他	
	回数	日付	内 容		人数			計
上久堅	17	5/1	こども読書の日	読みきかせ、いももち作りなど	20	448	10	11/1 文化祭 (古本市)
		5/26	上久堅小	読みきかせ	60			
		8/8	人形劇観劇〔公〕	バスでプロの人形劇を見に行こう	23			
		12/1	上久堅小	読みきかせ	60			
		2/5	お楽しみ会〔公〕	読みきかせ、カルタ会、ハンドベルコンサート	33			
		月1回	上久堅保育園(月1)	読みきかせ	252			
千代	17	5/12	おはなしの会	読み聞かせ	26	269	2	
		5/19	(栄)おはなしの会	読みきかせ	7			
		6/5	お楽しみ会	読み聞かせ、工作、おやつ	25			
		11/7	文化祭〔公〕	あっちパパ Sの絵本ライブ、リユース	35			
		12/4	クリスマス会	読み聞かせ、工作、おやつ	46			
			(栄)おさんぽ保育	読み聞かせ、開館(月1)	130			
龍江	9	5/1	お話しの会		12	313	14	
		6/23	お話しの会		70			
		7/3	作るお楽しみ会		30			
		10/27	下沢先生のお話の会		68			
		11/6、7	文化祭〔公〕	おはなしの会、特別開館	41			
		12/11	クリスマス会		47			
		2/5	かるた会〔公〕		21			
		3/5	春のお楽しみ会		24			
竜丘	17	5/8	子ども読書の日	読みきかせ など	16	991	13	小学校参観日開館 7回
		7/10	七夕まつり	読みきかせ、工作	35			
		10/22	よちよち学級〔公〕	絵本、手遊び	32			
		11/16、17	文化祭〔公〕	絵本、パネルシアター、おりがみ、工作、古本市	142			
		12/11	クリスマス会	絵本、パネルシアター、クリスマスカード、工作等	52			
		2/5	カルタ会	百人一首、カルタ	34			
		月1回	保育園	おはなし会(10回)	680			
川路	14	5/22	子ども読書の日	おはなし会	18	228	9	
		7/24、28、8/4	七夕おたのしみ会	星のお話と紙芝居、折り紙、短冊	47			
		8/6	人形劇観劇ツアー〔公〕		29			
		10/17	文化祭〔公〕	ジャンボ紙芝居、古本市(参加人数 多)	50			
		12/18	クリスマス会	紙芝居、クリスマスツリー作り	33			
		2/5	川路かるた会〔公〕	カルタ、百人一首	23			
		3/20	春のお楽しみ会	読み聞かせ、ビデオ、楽しいカード作り	13			
			乳幼児学級〔公〕	(すくすく学級)貸出(年5回)	15			
三穂	24	4/21	図書館探検、お話の会	読みきかせ、図書館案内など	35	2446	25	
		5/25	小学校読み聞かせ		90			
		5/29	お楽しみ会	シャボン玉	27			
		8/7	人形劇フェスタ〔公〕	人形劇観劇ツアー	43			
		8/8	夏祭り〔公〕	アンデルセン手芸、ブラックシアター	50			
		12/14	クリスマス会	パネルシアター	95			
		2/5	文化祭〔公〕	古本市	80			
		2/15	小学校読み聞かせ		90			

分館名	お楽しみ会、行事など					係会等	その他	
	回数	日付	内 容		人数			計
三 穂	49回		保育園お話し会	(毎週水曜日)	1715		35人×49人	
	3/5		お楽しみ会	人形劇、ジャンボ絵本	55			
			いきいきりハピリ	おはなしの会 年3回	36			
			乳幼児学級〔公〕	読みきかせ 年11回	130			
山 本	58	6/18	お話し会	すきすきぼうし 絵本読み。工作	29	4054	7	本を届ける活動 毎月 お話しの出前、保育園は 年長・年中・年少へ 小学校は6学年へ
		11/8	文化祭〔公〕	工作(牛乳パックで車) パネルシアター他	40			
			クリスマス会	あっちパパ' Sの絵本ライブ	71			
			お話しの出前	保育園(山本・さくら・久米)・小学校	3844			
			乳幼児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	70			
伊賀良	13	5/29	お楽しみ会	講師山本洋子氏 手遊び、押し花等	36	587	10	
			乳幼児学級〔公〕	お話し、手遊び、貸出 年5回	254			
		6/26	流木アート〔公〕	ハンガー作り お話し	25			
		7/31	夏休み工作〔公〕	木を使った工作	20			
		9/11	お楽しみ会	講師平沢喜代重氏 月をたのしむお話し会等	55			
		9/29	田んぼの生き物〔公〕	講師四方学芸員「田んぼの生き物」	20			
		11/20, 21	文化祭〔公〕	紙芝居、スタンプラリー、貸出等	100			
		12/18	お楽しみ会	紙芝居、手遊び	77			
上 村	10	4/28	おはなしの会		10	184	9	
		6/23	おたのしみ会		11			
		6/25	乳幼児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	10			
		7/10	野鳥観察会〔公〕		18			
		8/3	夏休みカレーを作ろう		7			
		10/16	お月見会		14			
		10/25	文化祭〔公〕	リユース	20			
		1/15	おたのしみ会	お正月お雑煮作り	24			
		3/12	お楽しみ会	園児による霜月祭り、わら細工「馬」	32			
		3/12	おたのしみ会〔公〕		38			
南信濃	8	5/6, 7	手芸教室	マスコット	5	611	13	
		6/26	〃〔公〕	人形作り	18			
		7/17	折り紙教室〔公〕		20			
		11/3	ハロウィーン〔公〕		50			
		12/18	クリスマス会		30			
		1/15	お正月あそび〔公〕		10			
		2/5	マスコット作り		10			
		3/27	おたのしみ会〔公〕		10			
			すこやか学級		8			
		保育園	読みきかせ (45人×10回)	450	年1回 年10回			

お楽しみ会 回数 265 回
お楽しみ会 人数 12,297 人

資 料 編

1. 沿革

(1) 中央図書館

- ・明治34年 飯田小学校内に飯田文庫設立。
旧飯田藩主堀家の蔵書を購入。
- ・大正4年11月10日 公立図書館となる。(町立)
- ・昭和6年7月1日 飯田藩連隊区司令部の建物に移る。
- ・昭和13年 書庫新築。
- ・昭和13年2月11日 長野県知事より表彰される。(館の運営宜しきを得、逐年成績みるものあり云々)
- ・昭和23年6月 附設公民館増築。
- ・昭和31年9月30日 近隣7か村と合併し、当館が本館となり、旧7か村の地区に分館を置く。
- ・昭和36年3月31日 川路村合併。川路分館を加え8分館となる。
- ・昭和38年4月1日 飯田市中央公民館内に分室を設ける。
- ・昭和39年3月31日 龍江村・千代村・上久堅村合併・龍江・千代・上久堅を加え11分館となる。
- ・昭和42年11月1日 羽場地区に羽場分室を設ける。
- ・昭和43年4月1日 羽場分室を分館にし、中央・第一・第二公会堂の3か所で貸出をする。(12分館となる)
- ・昭和45年4月1日 飯田市中央公民館内の分室を廃止する。
- ・昭和46年4月1日 丸山分室を分館にし、飯田農協・滝ノ沢集会所の2か所で貸出をする。(13分館となる)
- ・昭和48年6月1日 丸山分館が飯田農協で貸出をしていたが、これを廃し丸山連合自治会集会所(丸山8区旧消防署分署跡)で貸出することになる。
- ・昭和49年2月27日 児童室・婦人文庫室・会議室(新館)竣工。
- ・昭和53年度 モデル分館事業として「児童向け土曜貸出」を、下久堅(5月)、松尾(7月)、龍江(1月)の3館が実施。
- ・昭和54年度 土曜貸出を羽場・千代・伊賀良分館が実施、計6館となる。
- ・昭和54年4月 羽場分館(公民館)完成。
- ・昭和54年10月28日 全面改築移転のため閉館となる。
- ・昭和55年1月8日 飯田文化会館で仮開館開始。
- ・昭和55年1月 飯田市公民館図書室で土曜貸出を始める。(橋南地域へのサービスのため)
- ・昭和55年3月18日 旧図書館を取り壊す。
- ・昭和55年4月 丸山分館(公民館)完成。
- ・昭和56年3月 飯田市公民館図書室での土曜貸出をやめる。
- ・昭和56年5月15日 市立飯田図書館改築完了。
- ・昭和56年7月3日 市立飯田図書館改築完了竣工式。
- ・昭和56年7月5日 市立飯田図書館新館開館。
- ・昭和57年度 座光寺・竜丘・川路・山本土曜貸出実施。
- ・昭和59年4月 千栄で土曜貸出実施。
- ・昭和59年12月1日 鼎町合併、飯田市立鼎図書館となる。
- ・昭和60年4月1日 東野分館(公民館)完成。
- ・昭和60年6月1日 東野分館開館、土曜貸出実施。
- ・平成3年6月15日 本館、ヤングアダルトコーナー開設。
- ・平成5年7月1日 上郷町合併、飯田市立上郷図書館となる。
合併により、市立飯田図書館を飯田市立中央図書館と改称。
- ・平成8年4月1日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成9年2月25日 コンピュータシステム稼働による貸出はじまる。(NEC:LiCS-N)
- ・平成10年3月31日 「飯田市立中央図書館漢籍目録」刊行される。

- ・平成 12 年 8 月 「かこさとしの世界」展 開催される。
- ・平成 13 年 2 月 空調施設改修工事着工。同 6 月稼働（繰越明許事業）
- ・平成 15 年 6 月 かこさとし作『だるまちゃん・りんごちゃん』出版される。
- ・平成 16 年 7 月 22 日 コンピュータシステム更新、稼働。（NEC : LiCS-RIII）
図書館ホームページ開設、インターネット蔵書検索開始。
- ・平成 16 年 9 月 インターネットによる予約受付開始。
- ・平成 17 年 10 月 上村・南信濃村合併、上村分館・南信濃分館となる。
- ・平成 18 年 4 月 20 日 伊賀良学習交流センター竣工、同施設内に伊賀良分館を移転。
- ・平成 18 年 4 月 29 日 中央図書館で祝日開館を本格実施。
- ・平成 18 年 8 月 25 日 ビジネス支援開始。
- ・平成 19 年 1 月 夜間開館試行。
- ・平成 19 年 3 月 10 日 市岡文書及び古書・飯田文書・村沢資料目録をW e b 上公開。
- ・平成 19 年 5 月 繰り下げ開館試行。
- ・平成 19 年 9 月 毎週木曜日繰り下げ開館 12:00～20:00 開館実施。
- ・平成 20 年 4 月 毎週木曜日 10:00～20:00 開館実施
- ・平成 22 年 12 月 27 日 図書館のネットワーク化について、定住自立圏形成の追加協定を
松川町・高森町と締結。
- ・平成 23 年 3 月 耐震改修工事竣工。（工事休館平成 22 年 10 月 18 日～11 月 30 日）

(2) 地域図書館

① 県図書館

- ・明治 43 年 12 月 7 日 開庫式を行い、青年会が管理、運営を行う。
- ・大正 12 年 7 月 26 日 県より私立図書館として認可される。
- ・昭和 25 年 7 月 公民館図書部として運営される。
- ・昭和 35 年 1 月 旧自治警察署跡へ移転して独立の図書館となる。
- ・昭和 38 年 4 月 1 日 司書 1 名を配置して昼間開館を行う。
- ・昭和 54 年 10 月 27 日 旧自治警察署跡へ図書館改築。
- ・昭和 59 年 12 月 1 日 飯田市と合併、飯田市立県分館となる。
- ・昭和 60 年 4 月 1 日 職員 2 名と土・日パート職員を配置して本館と同じ運営を行う。
- ・平成 5 年 7 月 1 日 上郷図書館と同列の飯田市立県図書館となる。
- ・平成 9 年 2 月 25 日 コンピュータシステム稼働による貸出はじまる。
- ・平成 11 年 12 月 21 日 共生のまち推進事業実施（障害者対応施設整備）

② 上郷図書館

- ・大正 11 年 4 月 1 日 上郷青年会は上郷文庫設置を決定。
- ・大正 12 年 10 月 10 日 上郷青年会は小学校の一室を借りて上郷文庫を開館。
- ・昭和 2 年 7 月 18 日 文庫を小学校より信用組合に移転。蔵書 675 冊。
- ・昭和 10 年 11 月 22 日 図書館経営と山林経営の協力が認められ、上郷青年会は文部大臣
表彰を受ける。
- ・昭和 11 年 7 月 21 日 下黒田に独立図書館建設、開館式。
- ・昭和 15 年 2 月 11 日 優良図書館として県知事表彰。
- ・昭和 16 年 7 月 12 日 上郷青年会図書館を村立上郷図書館へ移管式。
- ・昭和 21 年 7 月 1 日 図書館の一部を改装、国保直営の上郷診療所を併設。
- ・昭和 25 年 9 月 1 日 診療所は高松病院（現ゆうゆう）の位置に移転。
- ・昭和 31 年 7 月 1 日 図書館へ専任職員を置く。
- ・昭和 37 年 1 月 6 日 全日開館を開始、土・日を除き午前 10 時から午後 5 時まで。専
任職員を 1 名増員。
- ・昭和 39 年 11 月 1 日 上郷村民会館落成にて図書館移転、一階の 3 室を占める。旧図書
館は公民館下南分館として払い下げる。
- ・昭和 42 年 4 月 1 日 専任図書館長を置く。夜間開館の係として青年会員の奉仕を受け
る。

- ・昭和 58 年 10 月 是枝英子著『知恵の樹を育てる-信州上郷図書館物語-』出版される。
- ・昭和 60 年 4 月 28 日 現図書館開館式。5 月 2 日竣工式。総経費 2 億 7 千万円。(敷地費含む)
- ・平成 5 年 7 月 1 日 飯田市と合併。飯田市立上郷図書館となる。
- ・平成 9 年 2 月 25 日 コンピュータシステム稼働による貸出はじまる。

(3) 分館

① 座光寺分館

- ・明治 36 年 4 月 23 日 青年団は文庫創立資金を村内より募り、文庫規則をつくる。
- ・明治 36 年 10 月 1 日 文庫を「座光寺文庫」と命名し小学校に設置。開庫式を開く。
- ・明治 37 年 10 月 10 日 「座光寺文庫」を「麻績文庫」と改名。
- ・大正 3 年 巡回文庫開設。
- ・大正 14 年 明治 27 年創立の「女子同窓会文庫」と合併する。
- ・昭和 8 年 11 月 4 日 「麻績文庫」規則を改正する。
- ・昭和 14 年 1 月 30 日 社会情勢に対処し、読書機関の重要性を認め、青年団に図書部を新設し、文庫を改革し、文庫の整理をする。
- ・昭和 14 年 3 月 11 日 国立図書館長・松本喜一氏視察する。
- ・昭和 14 年 3 月 19 日 県立図書館長・乙部泉三郎氏を招き文庫の経営及び製本法の指導を受ける。
- ・昭和 25 年 「麻績文庫」を「座光寺図書館」と改名する。
北部地区 5 か村（座光寺・上郷・市田・山吹・大島）にて図書館協会をつくる。
- ・昭和 31 年 青年団は図書館財産を村当局に寄付し、公民館図書部として運営する。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により市立飯田図書館座光寺分館となる。
- ・昭和 57 年 4 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 60 年 4 月 1 日 公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

② 松尾分館

- ・大正 12 年 12 月 皇太子成婚記念事業として、従来の青年文庫・児童文庫を統一して村立図書館の設立を計画し、村費 300 円を計上する。
- ・大正 13 年 1 月 26 日 「村立松尾図書館」開館式を行う。書籍数は児童文庫 671 冊、普通文庫 575 冊。以来館長には村長、副館長には小学校長、事務員には小学校教員があたり、図書館は小学校の建物の中にあり、学校にて運営する。
- ・昭和 21 年 図書館を公民館附属建物に移し、青年会が運営する。
- ・昭和 23 年 4 月 図書館が公民館に所属し、公民館図書部にて運営する。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館松尾分館となる。
- ・昭和 53 年 7 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 2 年 4 月 14 日 公民館の新築に伴い同館内に分館を併設し毎週土曜日、水曜日、第 2・第 4 日曜日に開館する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

③ 下久堅分館

- ・大正 13 年 4 月 下久堅巡回文庫として発足。
- ・昭和 4 年 当時の青年会が中心となって、小学校内に村立図書館を設立。
- ・昭和 12 年 村役場へ移転。
- ・昭和 16 年 小学校へ移転。
- ・昭和 23 年 下久堅公民館設立と同時に公民館図書部へ移管。

- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館下久堅分館となる。
- ・昭和 44 年 2 月 20 日 新館落成。(公民館内に併設) 開館。
- ・昭和 53 年 4 月 15 日 公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
- ・昭和 53 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

④ 上久堅分館

- ・昭和 25 年 4 月 1 日 上久堅公民館が設置されると、図書部として発足する。青年団の文化部が管理する。
- ・昭和 32 年 4 月 1 日 公民館図書部が管理する。
- ・昭和 39 年 3 月 30 日 上久堅村は飯田市に合併し、飯田市立図書館上久堅分館となる。
- ・昭和 41 年 11 月 上久堅公民館の一室を図書館とする。
- ・昭和 56 年 4 月 1 日 公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
- ・昭和 57 年 4 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 元年 1 月 分館の部屋を改築し広める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 15 年 5 月 7 日 健康相談室へ図書室を移転。

⑤ 千代分館

- ・明治 27 年 千代小学校職員及び青年会有志により、千代小学校内に「千代文庫」を創立。
- ・大正 2 年 1 月 30 日 「千代文庫」を千代青年会に管理委託。
- ・大正 12 年 4 月 1 日 御成婚記念として「村立図書館」を設立し、前者を移管。(独立施設としての図書館ではなかった)
- ・昭和 12 年 7 月 9 日 村出身、島岡亮太郎氏の寄贈により木造 2 階建 1 棟 (4 間×6 間、階段便所つき) の独立図書館を建築。名称「村立千代図書館」として発足。後、館内に「二宮報徳文庫」「児童文庫」「忠勇文庫」を特設。
- ・昭和 14 年 2 月 11 日 県下優良図書館として県知事表彰を受ける。
- ・昭和 23 年 4 月 1 日 千代公民館が管理にあたる。
- ・昭和 39 年 3 月 30 日 千代村は飯田市に合併し、飯田市立図書館千代分館となる。
- ・昭和 52 年 6 月 19 日 小学校体育館建設のため取り壊し、小学校内の一部を仮分館とする。
- ・昭和 54 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 55 年 4 月 基幹集落センターの一室を図書館とし、開館する。
- ・昭和 59 年 4 月 千栄で土曜貸出を実施する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑥ 龍江分館

- ・昭和 23 年 龍江公民館が設置されると図書部として発足する。図書室を村役場内に置く。
- ・昭和 39 年 3 月 30 日 龍江村は飯田市に合併し、飯田市立図書館龍江分館となる。
- ・昭和 39 年 7 月 龍江支所事務室を半分に仕切り、その半分を図書室とする。
- ・昭和 54 年 1 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 54 年 職場団体貸出文庫を始める。
- ・昭和 59 年 3 月 12 日 公民館の新築にともない同建物内に分館を併設し開館する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑦ 竜丘分館

- ・大正 9 年 9 月 青年の手により竜丘小学校内に竜丘文庫を設立し、青年会が管理する。
- ・昭和 2 年 各部落に独立文庫ができる。竜丘処女会文庫ができる。
- ・昭和 4 年 2 月 1 日 竜丘分庫、処女会文庫を統合して竜丘図書館を設立する。
- ・昭和 12 年 1 月 26 日 村立図書館となる。
- ・昭和 19 年 12 月 20 日 県立図書館長・乙部泉三郎氏を招き、読書講習会を開く。
- ・昭和 21 年 3 月 マッカーサーの命により軍事関係の図書約 400 冊を廃棄する。
- ・昭和 23 年 公民館が設置され、公民館図書部となる。
- ・昭和 24 年 7 月 旧竜丘電気組合事務所を買収し、図書館に改造する。
- ・昭和 25 年 10 月 24 日 創立 20 周年記念を兼ね開館式を行う。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村合併により、飯田市立図書館竜丘分館となる。
- ・昭和 51 年 4 月 1 日 公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し開館。
- ・昭和 57 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 13 年 5 月 5 日 公民館の新築に伴い同建物内に併設し開館する。
(公民館の中心施設として設置)

⑧ 川路分館

- ・大正 14 年 小学校内に図書室を設置。
- ・昭和 17 年 3 月 村立川路図書室となる。
- ・昭和 36 年 3 月 31 日 川路村は飯田市に合併し、飯田市立図書館川路分館となる。
- ・昭和 36 年 6 月 27 日 大水害にて蔵書が全部水に浸り、廃棄する。
- ・昭和 41 年 4 月 1 日 飯田市役所川路支所の一室を図書館とする。
- ・昭和 57 年 3 月 公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し、開館。
- ・昭和 57 年 4 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑨ 三穂分館

- ・明治 29 年 三穂親友会創立。
- ・明治 38 年 日露戦争並びに親友会創立 10 周年記念事業として親友文庫を創設。
- ・大正 11 年 親友会文庫を三穂小学校に移管。
- ・大正 15 年 当時すでに誕生していた三穂青年会部落文庫を統合して村立図書館とする。同時に青年会が運営する。
- ・昭和 22 年 5 月 村立図書館を公民館に移管し、公民館図書部として発足する。
- ・昭和 26 年 部落巡回文庫開設。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館三穂分館となる。
- ・昭和 56 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 59 年 1 月 23 日 公民館の新築に伴い、同建物内に分館を開設し開館する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑩ 山本分館

- ・大正 11 年 各部落の青年会図書をまとめ、役場の 2 階に図書室が設けられる。運営は青年会があたる。
- ・昭和 2 年 山本小学校校庭の一隅の建物に「山本青年会図書室」を設立する。工費 740 円。
- ・昭和 26 年 山本公民館図書部へ移管。この時、青年学校図書もここへ移して一本化する。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館山本分館となる。
- ・昭和 35 年 7 月 20 日 山本支所の裏手に倉庫を改造し更に増築。ここに図書館を移す。

- ・昭和 49 年 5 月 11 日 公民館を新築し、その一室を図書館分館とする。
- ・昭和 57 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 6 年 4 月 9 日 公民館の新築に伴い、別棟に図書館を併設しオープンする。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑪ 伊賀良分館

- ・昭和 15 年 1 月 15 日 伊賀良青年団新年総会において、図書館の建設を決議。
- ・昭和 15 年 2 月 北方・赤間栄吉氏の建築寄附により公会堂を改造して利用することとなる。敷地として村役場付近大平田所有を買収。
- ・昭和 15 年 2 月 27 日 県立図書館長・乙部泉三郎氏来村し設計指導する。設計者・木下作治氏。
- ・昭和 25 年 1 月 青年団は図書館が狭くなったので新築の計画を立て、資金の積み立てを計画する。以後毎年 5,000 円ないし 10,000 円の積み立てをする。
- ・昭和 27 年 伊賀良公民館図書部となる。ただし、運営は青年団があたる。
- ・昭和 29 年 再び伊賀良青年団図書部となる。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館伊賀良分館となる。
- ・昭和 35 年 新築することに決定、予算 85 万円。
- ・昭和 36 年 3 月 31 日 新築する。
- ・昭和 54 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 63 年 4 月 9 日 公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し開館する。
- ・昭和 63 年 4 月 毎週土曜日に加えて毎週水曜日の貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 18 年 4 月 22 日 伊賀良学習交流センター竣工に伴い、同館内に分館を移転してオープン。
- ・平成 19 年 6 月 開館日を拡大、火曜日と木曜日の午後も開館。
- ・平成 22 年 9 月 木曜日午前中開館を開始。

⑫ 羽場分館

- ・昭和 42 年 11 月 1 日 羽場地区に羽場分室を設置。
- ・昭和 43 年 4 月 1 日 羽場分館となり、中央・第 1・第 2 公会堂の 3 か所で貸出をする。
- ・昭和 54 年 3 月 27 日 公民館の新築に伴いその一室を図書館分館とし、中央公会堂は閉鎖する。
- ・昭和 54 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 58 年 4 月 土曜貸出に大人も含める。
- ・平成 元年 4 月 毎週土曜日に加えて毎週水曜日の貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 10 年 10 月 公会堂の改修に伴い、羽場大休の第一分室を閉鎖する。
- ・平成 12 年 3 月 羽場大通りの第二分室を閉鎖する。

⑬ 丸山分館

- ・昭和 45 年 4 月 1 日 丸山地区に分室を設置、飯田農協・滝ノ沢集会所の 2 か所で貸出をする。
- ・昭和 46 年 4 月 1 日 丸山分館となり、飯田農協・滝ノ沢集会所の 2 か所で貸出をする。
- ・昭和 48 年 6 月 1 日 飯田農協を廃し、丸山連合自治会集会所で貸出をする。
- ・昭和 49 年 7 月 20 日 丸山公民館の一室にて貸出をする。
- ・昭和 55 年 4 月 丸山公民館（全面改築）完成、図書室にて貸出をする。
- ・昭和 56 年 4 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 58 年 7 月 16 日 丸山連合自治会集会所での貸出を止め、新たに丸山児童館で貸出し、土曜貸出も児童館で行う。
- ・平成 元年 2 月 丸山児童館での貸出を止め、丸山公民館で土曜貸出を始める。

- ・平成 2 年 滝の沢集会所（新築）滝の沢分室
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 15 年 3 月 31 日 滝の沢分室を閉鎖する。

⑭ 東野分館

- ・昭和 60 年 4 月 1 日 東野公民館の 2 階一室に東野分館を設置する。
- ・昭和 60 年 6 月 1 日 開館、土曜貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑮ 上村分館

- ・平成 17 年 10 月 1 日 飯田市に合併。飯田市立中央図書館上村分館となる。
- ・平成 22 年 9 月 土曜日開館を第 2・第 4 の 10 時～12 時と改める。

⑯ 南信濃分館

- ・平成 17 年 10 月 1 日 飯田市に合併。飯田市立中央図書館南信濃分館となる。
- ・平成 18 年 10 月 1 日 定期開館開始。

(4) 飯田図書館 歴代館長

	氏 名	兼務／専任	在任期間
初 代	掛川 良平	兼務	大正 4. 11～昭和 6. 3
第二代	両隈 喜重	兼務	昭和 6. 4～昭和 13. 3
第三代	本堂 順一	兼務	昭和 13. 4～昭和 22. 3
第四代	伊藤 兵三	専任	昭和 22. 7～昭和 24. 3
第五代	小林 保一(郊人)	専任	昭和 25. 3～昭和 26. 9
第六代	本堂 順一	兼務	昭和 26. 10～昭和 27. 3
第七代	池元 威男	専任	昭和 27. 4～昭和 31. 3
第八代	松澤 太郎	兼務	昭和 31. 4～昭和 39. 3
第九代	高堂 正男	兼務	昭和 39. 4～昭和 40. 3
第十代	池田 寿一	専任	昭和 40. 4～昭和 51. 3
第十一代	林 正敏	専任	昭和 51. 4～昭和 55. 3
第十二代	今村 兼義	専任	昭和 55. 4～平成 6. 3
第十三代	代田 一行	専任	平成 6. 4～平成 10. 3
第十四代	福澤 善紀	専任	平成 10. 4～平成 12. 3
第十五代	岡田 昌伸	専任	平成 12. 4～平成 17. 3
第十六代	稲吉 憲一	専任	平成 17. 4～平成 18. 3
第十七代	仲平 和夫	専任	平成 18. 4～平成 22. 3
第十八代	牧内 和人	専任	平成 22. 4～

2. 施設

(1) 中央図書館 (TEL 0265-22-0706・FAX 0265-22-0235)

- ・敷地 飯田市追手町2丁目677番地3 面積 1,625.47 m²
- ・建物 鉄筋コンクリート3階建
 建築面積 1,014.28 m² 延床面積 2,507.63 m²

(2) 地域館

県図書館 (TEL 0265-23-9901・FAX 0265-23-9908)

- ・敷地 飯田市鼎中平2246番地 面積 1,117 m²
- ・建物 木造平屋建 268.30 m²

上郷図書館 (TEL 0265-52-2551・FAX 0265-52-2574)

- ・敷地 飯田市上郷黒田442番地1 面積 1,249.83 m²
- ・建物 鉄筋コンクリート2階建
 建築面積 581.89 m² 延床面積 1,117.31 m²

(3) 分館

分館名	独立・併設	面積 (m ²)
座光寺	座光寺公民館内	53.00
松尾	松尾公民館内	101.68
下久堅	下久堅公民館内	78.00
上久堅	上久堅農村環境改善センター内	36.45
千代	千代基幹集落センター内	77.90
龍竜	毛呂窪公民館(千栄分室)	77.49
川路	龍江公民館内	136.80
三穂	竜丘公民館内	49.56
山本	川路公民館内	63.18
伊賀	三穂多目的研修センター内	90.72
羽場	山本公民館内	299.95
丸山	伊賀良学習交流センター内	58.59
東野	羽場公民館内	61.20
上村	丸山公民館内	78.00
南信濃	東野公民館内	162.75
	かみっこ交流館内	40.00
	南信濃学習交流センター内	
16分館・1分室		合計 1,465.27 m ²

内お話の部屋 28 m²
内書庫 7.2 m²

(4) コンピュータシステム (平成16年7月22日 新システム導入)

- 新システム: NEC LiCS-RⅢ (パソコンサーバシステム)
- MARC: TRC MARC Uタイプ (図書館流通センター)

3. 職 員 （平成 23 年 4 月 1 日現在）

(1) 中央図書館

- ・正規職員 9 人（司書資格者 6 人）
- ・臨時職員 8 人（司書資格者 8 人）
- ・パート職員 4 人が交代勤務（木・土・日曜日雇用）

(2) 県 図書館

- ・正規職員 2 人（司書・司書教諭資格者 2 人）
- ・臨時職員 1 人（司書資格者 1 人）
- ・パート職員 2 人が交代勤務（土・日雇用）

(3) 上郷図書館

- ・正規職員 3 人（司書・司書教諭資格者 3 人）
- ・臨時職員 2 人（司書・司書教諭資格者 2 人）
- ・パート職員 1 人（土・日雇用）

(4) 分館（16 館）

- ・分館長 16 人
- ・分館主事 16 人（公民館主事の兼務）
- ・分館係員（パート職員）
96 人が交代勤務（主に水・土・日曜日）

4. 図書館協議会委員 10 名（男性 5 人、女性 5 人）

(1) 設置根拠

図書館法第 15 条・飯田市立図書館条例第五条の規定により図書館協議会を置く

(2) 任 期：2 年

(3) 任 務：図書館の運営に関し、図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行なうサービス業務につき館長に意見を述べる。

(4) 開催回数：年 3 回

(5) 平成 22 年度の主な協議事項

第 1 回 6 月 18 日 21 年度事業報告・22 年度運営方針及び事業計画

中央図書館耐震改修工事・長野県図書館大会について 他

第 2 回 10 月 14 日 飯田下伊那図書館ネットワーク・長野県図書館大会・分館資料データ化事業について 他

第 3 回 2 月 10 日 図書館利用者アンケート・図書館協議会委員公募について 他

(6) 図書館協議会委員（任期：23 年度・24 年度）

大石 順子 加藤 静夫 久保田雅子 下平 光紀

名子 晃 平岩 宏保 松下 敏子 松島タセ子

松本 慶一 矢澤 朱美

5. 利用案内

(1) 中央図書館・地域館

- ① 開館時間 午前10時～午後6時
 ※中央図書館は、木曜日(祝日を除く)のみ夜8時まで開館
- ② 休館日 毎週月曜日・毎月第4金曜日・年末年始(12/28～1/4)
 ※祝日は鼎・上郷図書館のみ休館(中央は月曜以外の祝日は開館)
- ③ 館内閲覧 開館時間内は誰でも自由に閲覧できる
- ④ 館外貸出 飯田・下伊那地区に在住または通学、通勤している方
 ※中央・地域館 1人10冊 分館 1人4冊 貸出期間 2週間

(2) 分館

【伊賀良分館】

火・水・日曜日：午後 1時～5時
 木・土曜日：午前10時～午後5時

【松尾・竜丘分館】

水曜日：午後 1時～5時
 土曜日：午前10時～午後 5時
 日曜日：午後 1時～5時

【三穂分館】

水曜日：午前 9時30分～11時30分
 午後 3時～5時
 土曜日：午前10時～午後 5時

【山本分館】

水曜日：午後 1時～5時
 ※第1・3のみ午前10～12時も開館
 土曜日：午前 9時～午後5時
 日曜日：午後 1時～5時

【羽場・丸山・東野・座光寺・下久堅

上久堅・千代・龍江・川路分館】

水曜日：午後 1時～5時 (川路は2時～・千代は2時30分～)
 土曜日：午前10時～午後 5時

【上村分館】

月～金曜日：午後 3時～5時
 土曜日：第2・4 午前10時～午後 4時

【南信濃分館】

月～金曜日：午後 3時～5時
 土曜日：午前10時～12時

(平成23年3月31日現在)

6. 予 算

(1) 当初予算

(単位：千円)

内 訳	平成23年度当初	平成22年度当初	比 較
飯田市予算総額	42,430,000	41,240,000	1,190,000
10款 教育費	3,805,501	4,357,596	△ 552,095
5項 社会教育費	1,256,357	1,206,376	49,981
1目 社会教育総務費	12,325	13,462	△ 1,137
2目 青少年健全育成費	3,004	3,109	△ 105
3目 文化財保護費	61,829	57,549	4,280
4目 公民館費	319,801	329,003	△ 9,202
5目 図書館費	232,690	209,886	22,804
6目 美術博物館費	295,393	274,778	20,615
7目 文化会館費	250,762	244,188	6,574
8目 歴史研究所費	80,553	74,401	6,152

(2) 平成22年度決算額一覧

(款) 10 教育費 (項) 05 社会教育費 (目) 05 図書館費 ※人件費を除く (単位: 円)

細々目	細 節	中 央	鼎	上 郷	分 館	計	21年度決算	前年度対比
図 書 購 入 費	消耗図書費	20,527,154	3,549,981	7,473,054	8,531,607	40,081,796	38,202,228	1,879,568
	備品図書費	2,062,196			1,646,400	3,708,596	798,840	2,909,756
図 書 館 管 理 運 営 費	臨時職員賃金	21,964,073				21,964,073	21,482,000	482,073
	消耗品費	2,561,442	219,986	349,794	94,710	3,225,932	2,919,000	306,932
	燃料費	195,905	59,639	48,659	164,065	468,268	435,633	32,635
	印刷製本費	76,965			171,150	248,115	301,313	△ 53,198
	光熱水費	4,552,155	449,165	1,567,460	358,494	6,927,274	6,532,281	394,993
	修繕費	243,043	203,676	268,590	5,250	720,559	1,402,455	△ 681,896
	通信運搬費	1,583,501	124,647	172,847	44,655	1,925,650	1,849,207	76,443
	手数料	320,200				320,200	371,955	△ 51,755
	保険料	209,034				209,034	205,544	3,490
	委託料	21,063,126				21,063,126	23,494,380	△ 2,431,254
	使用料 及び賃借料	1,621,380	23,397	53,378	7,560	1,705,715	1,706,923	△ 1,208
	備品購入費	38,850		38,850		77,700	2,318,073	△ 2,240,373
	負担金 (上郷駐車場)			228,000		228,000	228,000	0
	公課費	27,600				27,600	17,600	10,000
図 書 館 事 業 費	委員等報酬	90,450			300,800	391,250	384,550	6,700
	賃 金	1,611,410	427,400	367,493	14,779,800	17,186,103	16,799,254	386,849
	報償費	379,444				379,444	367,443	12,001
	旅 費	133,320				133,320	118,830	14,490
	保険料 (ホランティア)	24,080				24,080	29,140	△ 5,060
	負担金補助及 び交付金	70,700				70,700	70,700	0
コンピュータシステム運営事業費	2,200,875				2,200,875	3,821,295	△ 1,620,420	
はじめまして絵本事業費	820,785				820,785	769,335	51,450	
ビジネス支援事業費	484,107				484,107	460,905	23,202	
施設改修事業費	現年 明許 24,972,150 66,150,000		682,500		91,804,650	8,548,470	83,256,180	
計		173,983,945	5,057,891	11,250,625	26,104,491	216,396,952	133,635,354	82,761,598

【22年度】緊急雇用創出事業(郷土資料保存事業)5,264,700円
重点分野雇用創出事業(分館データ化業務)8,771,406円
住民に光をそそぐ交付金(図書購入)4,000,000円

【21年度繰越明許】地域活性化・経済危機対策臨時交付金(中央図書館耐震補強工事)66,150,000円

7. 図書館資料

(1) 平成22年度中の蔵書増加冊数と年度末蔵書数

館名	羽場	丸山	東野	座光寺	松尾	下久堅	上久堅	千代	龍江	竜丘
受入冊数	476	507	506	482	661	527	475	614	398	818
うち子どもの本	248	270	198	233	412	351	287	352	245	338
除籍冊数	385	1,414	282	462	0	909	1,005	139	66	149
うち子どもの本	122	768	78	132	0	455	777	3	66	50
蔵書冊数	12,658	11,700	13,368	14,976	22,573	9,853	14,809	14,278	13,629	18,807
うち子どもの本	6,876	6,880	8,773	5,747	15,965	6,624	7,721	9,182	8,140	11,003

館名	川路	三穂	山本	伊賀良	上村	南信濃	県	上郷	中央	合計
受入冊数	515	405	491	873	379	517	3,282	11,379	15,041	38,346
うち子どもの本	307	272	238	460	267	254	944	2,000	2,039	9,715
除籍冊数	390	1,242	137	1,117	0	0	1,163	1,505	5,106	15,471
うち子どもの本	191	514	137	444	0	0	486	83	277	4,583
蔵書冊数	13,522	13,969	19,931	21,891	6,105	8,301	55,668	156,888	313,056	755,982
うち子どもの本	9,977	7,398	8,865	12,901	3,699	4,205	21,715	53,932	67,114	276,717

(2) マイクロフィルム

資料名	巻数	資料名	巻数
南信新聞	112巻	第1線他	1巻
合同新聞	10巻	平沢文書	27巻
南信州 ～H21.9	202巻	飯田市広報他	1巻
伊那公報	71巻	下伊那青年他	1巻
信濃大衆新聞	15巻	信州青年他	1巻
信濃時事新聞	20巻	飯田通信	1巻
信州日報 ～H21.9	157巻	竜丘時報	1巻
南信日報	23巻	青年史資料 18地区	71巻
南信タイムズ	2巻	青年運動資料 (金箱)	8巻
飯田日日新聞他	1巻	伊藤大八資料	11巻
週刊下伊那	2巻	上郷青年会資料	2巻
飯田ニュース	3巻	上郷時報	4巻
飯田毎日	4巻	信濃大衆新聞	3巻
飯田の新聞	8巻	その他新聞	5巻
信州音楽新聞他	1巻	飯田文書	13巻
南信時事	11巻	※郷土雑誌	5巻
信揚新聞	3巻		
新信州日報	1巻		
南信毎日新聞	1巻		
飯田町小史他	1巻	平成22年度末累計	803巻

※…平成22年度に新たに作製したもの

(3) デジタル資料

郷土新聞「南信州」	昭29～平21.9 (H21作成)	115,449頁
〃	「信州日報」 昭37.9～平21.9 (H22作成)	55,772頁
郷土雑誌「あけぼの」他	87タイトル (H22作成)	11,211頁

(4) 視聴覚資料

	紙芝居	ビデオ	DVD	マイクロフィルム	C D	CD-ROM	カセット
中央	1,680	185	133	803	132	5	24
県	713	7	29	0	3	0	0
上郷	1,869	8	35	0	328	0	1,001
計	4,262	200	197	803	463	5	1,031

(5) 障害者用資料

22年度録音図書製作数

	テープタイトル数	テープ本数	C Dタイトル数
中央	31冊	241本	92タイトル

22年度録音雑誌・新聞製作数

	テープタイトル数	テープ本数	C D枚数
中央	9	266	48
県	65	765	0
計	74	1,031	48

録音図書蔵書数 平成 23 年 3 月 31 日現在

	タイトル数	テープ本数	CD枚数
中央	2,818	24,485	571

(6) 受入新聞および雑誌等逐次刊行物 *詳細は図書館ホームページ参照

	新聞継続受入数	雑誌継続受入数
中央	22 紙	207 誌
鼎	5 紙	63 誌
上郷	10 紙	81 誌
計	37 紙 (24 種)	351 誌 (259 種)

(7) 特殊コレクション

古文書・文庫・特殊資料

堀家所蔵古書	1,330 点 (7,882 冊)	村沢文庫	1,043 点
市岡家所蔵古書	178 点	河竹文庫	71 冊
〃 文書	1,004 点	平沢文書	3,800 点 (歴研)
〃 標本	6 点	飯田文庫	243 点
〃 軸物	6 点	竹村浪の人文庫	1,222 冊
日夏耿之介文庫	9,940 冊	古島文庫	757 刷
日下部文庫	2,207 冊	宮沢文庫	1,283 冊

※平沢文書については歴史研究所に移管 マイクロフィルムのみ保管

南信新聞・信州合同新聞 (明治 35.1.1～昭和 17.4.30)・信濃時事・信濃大衆新聞・森本資料・伊藤大八関係資料・平沢文庫・小林郊人文庫・正木文庫・横田文子資料・下伊那青年運動史関係資料・木下農業関係資料・筒井文庫・木地師資料・富岡鉄斎資料・「飯田市立中央図書館漢籍目録」資料・松尾亨庵史料・小林正之文庫・沢柳文庫など

◎飯田市立図書館の特殊コレクション解説

① 堀家所蔵古書

明治 34 年、飯田文庫が飯田藩主堀氏所蔵の和漢書を購入し、飯田図書館の基礎がつけられた。儒教、国史、中国史等がある。その後飯田図書館で収集した貴重資料、太宰春台の著書等も含まれている。和書については国書総目録 (岩波書店刊) に掲載されているため、遠方からの利用者が多い。

② 市岡家所蔵古書

昭和 25 年、三重県津市 市岡勝太郎氏より飯田関係文書を委託され保管する。江戸時代の伊那谷三代官の一人であった市岡氏は、製糸、元結業の創始者であり、千村役所に勤めた。久々里旅日記や「雲彩寺所蔵古物之図」(写真のみ)等、博物関係の原資料がある。

③ 村沢文庫

飯田市中心通り村沢武夫氏が、昭和 50 年代から亡くなるまで寄贈し続けた郷土資料類である。「伊那歌道史」の原資料となった歌人の短冊や、飯田藩の資料は貴重である

④ 平沢文書 (H15.7 飯田市美術博物館へ移管 H16.3 県宝に指定後歴史研究所へ移管)

飯田市下久堅北原の庄屋平沢家に所蔵されていた近世文書である。昭和 43 年 10 月平沢清人氏から寄贈された。太閤朱印検地帳等地方文書として全国的にも、系統づけられている文書として貴重である。

⑤ 飯田文書

飯田町、上飯田村 (上飯田村の地図) の近世文書。元和～慶応までの文書で「宿継要書留」等が含まれている。

⑥ 森本資料

飯田市松尾新井の森本信也氏から昭和 51 年に寄贈された資料。大正、昭和にかけて国民精神作興会の下伊那支部の事務局をしていた森本州平氏が持っていた全国及び伊那谷の政治活動資料で、伊那谷の近代史をひもとく貴重な資料である。

⑦ 日夏文庫

飯田市名誉市民 日夏耿之介氏の所蔵されていた図書。日夏氏没後、昭和 56 年に図書館に移管された。洋書、和漢籍・雑誌・詩を中心に文学のことが多い。

⑧ 伊藤大八関係資料

飯田市伊賀良上殿岡出身の伊藤大八に送られた明治時代の政治家の手紙類。伊藤大八は、第 1 回衆議院選挙に自由党に属して当選。党の幹部として活躍した。中江兆民、原 敬等の直筆の手紙がある。

⑨ 青年運動史関係資料

昭和 34 年「下伊那青年運動史」が発行され、その原資料となった各青年団の会報等が発行と同時に寄贈された。

⑩ 鉄斎資料

飯田鉄斎愛好会から平成 2 年に寄贈された資料。図書、書、画、拓本がある。

⑪ 宮沢文庫

飯田へ大学を設立したいという希望を抱いていた、生田村出身の宮沢芳重さんが送り続けてきた図書、雑誌、哲学・数学・天文の図書。

⑫ 竹村浪の人文庫

講師竹村浪の人が使っていた図書類と講談の台本（生原稿）641 冊。一般書 581 冊

⑬ 木下農業関係資料

飯田市高羽町木下誠氏から昭和 57 年に寄贈された農業関係資料。農業に関する県内で発行された農業雑誌、特に園芸に関するものが多い。

⑭ 日下部文庫【上郷図書館所蔵】

郷土史家日下部新一氏が所蔵していた図書と資料で、遺族から寄贈された。資料は主として著作活動のために収集したものと思われ、スクラップ帳・生原稿を含む。生前寄贈された郷土雑誌も多数。

⑮ 松澤太郎文庫

平成 20 年 4 月に寄贈された元市長松澤太郎氏の蔵書約 2,200 冊（雑誌含む）。河上肇全集、會津八一の全集と貴重な画集、夏目漱石及び森鴎外の全集など幅広い資料。

⑯ 高原日記コレクション【伊賀良学習交流センター所蔵】

平成 20 年に寄贈された飯田市山本在住ジャーナリスト故高原富保氏の蔵書 704 冊。すべて作家等の日記のみを集めたコレクション。

⑰ 松尾亨庵史料

昭和 63（1988）年に龍江の松尾家より飯田市立図書館に寄託された、松尾亨庵関係史料。内容は、医学・漢学漢詩関係刊本、医学・漢学関係手稿、写本、雑書等。

⑱ 清内路煙草資料

清内路煙草を製造し販売した原澤喜之助（飯田町）関係の資料や書簡等 657 点を清内路の郷土史家桜井伴氏が収集、昭和 60 年当館に寄贈された。

⑲ 小林正之文庫【上郷図書館所蔵】

竜丘村（飯田市長野原）出身の早稲田大学名誉教授（西洋史学）小林正之氏の蔵書が没後に寄贈されたもの。歴史・社会科学分野を中心とした図書約 1,300 冊と雑誌約 1,200 冊。

8. 平成22年度貸出状況

(1) 館外貸出館別利用状況

(単位:人・冊)

	羽場	丸山	東野	座光寺	松尾	下久堅	上久堅	千代	龍江	竜丘	川路	三穂	山本	伊賀良	上村	南信濃	分館計	中央	県	上郷	合計
子ども	315	97	124	147	410	262	146	121	110	476	96	113	228	1,057	26	74	3,802	466	150	218	4,636
大人	202	104	108	78	231	184	154	83	108	340	89	65	89	494	45	51	2,425	1,673	127	283	4,508
団体	0	0	0	1	16	4	4	3	10	1	4	9	17	8	3	1	81	21	1	20	123
計	517	201	232	226	657	450	304	207	228	817	189	187	334	1,559	74	126	6,308	2,160	278	521	9,267
子ども	3,329	786	1,470	1,681	2,866	3,269	976	1,185	1,061	4,179	915	2,639	1,611	6,499	93	550	33,109	14,133	9,562	9,864	66,668
大人	2,493	1,085	1,488	1,009	1,715	1,793	876	904	1,168	3,346	916	820	884	3,938	467	350	23,252	62,645	18,507	27,714	132,118
団体	0	1	0	8	78	18	11	10	27	10	48	42	134	63	5	10	465	4,231	651	998	6,345
計	5,822	1,872	2,958	2,698	4,659	5,080	1,863	2,099	2,256	7,535	1,879	3,501	2,629	10,500	565	910	56,826	81,009	28,720	38,576	205,131
子ども	8,816	2,385	5,395	5,093	9,680	10,275	2,423	3,559	3,867	16,432	2,591	5,902	4,749	23,142	225	1,964	106,498	82,082	49,434	46,835	284,849
大人	5,354	3,045	4,860	2,800	5,594	5,158	2,477	2,431	3,599	12,986	2,418	2,463	2,632	13,486	1,189	1,213	71,705	274,047	84,854	114,429	545,035
団体	0	90	0	264	2,285	280	274	135	1,962	453	1,436	975	3,770	1,298	131	500	13,853	15,989	5,671	9,102	44,615
計	14,170	5,520	10,255	8,157	17,559	15,713	5,174	6,125	9,428	29,871	6,445	9,340	11,151	37,926	1,545	3,677	192,056	372,118	139,959	170,366	874,499

(2)貸出年度別統計

(単位 冊)

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
中央	336,826	349,536	369,264	380,445	395,003	394,057	403,171	406,133	431,219	451,438	372,118
県	98,008	93,912	96,848	98,510	102,734	109,616	112,260	116,485	122,916	127,338	139,959
上郷	125,626	131,737	142,238	142,602	133,493	136,872	143,778	140,357	140,940	148,060	170,366
羽場	13,495	13,150	15,228	19,792	20,699	18,154	16,714	17,577	18,918	16,398	14,170
丸山	6,608	6,239	7,151	6,809	7,326	8,480	8,761	8,201	7,350	5,868	5,520
東野	9,536	12,119	11,434	10,427	9,551	10,065	10,343	9,810	11,531	10,417	10,255
座光寺	6,855	7,791	7,956	8,921	8,425	7,886	7,884	7,099	6,624	7,258	8,157
松尾	20,855	19,276	23,168	23,397	22,795	20,422	19,291	18,909	19,505	18,957	17,559
下久堅	9,585	11,403	14,561	14,998	16,050	13,531	13,766	15,772	15,944	15,827	15,713
上久堅	3,515	2,452	2,786	2,473	4,381	3,557	6,526	6,591	4,559	4,850	5,174
千代	3,921	3,345	4,059	3,316	3,318	4,847	7,728	6,619	6,097	6,824	6,125
龍江	6,517	6,322	11,273	11,800	11,013	11,397	10,449	8,851	9,447	8,766	9,428
竜丘	10,269	28,394	29,091	30,362	31,511	30,223	29,428	31,483	30,409	33,200	29,871
川路	5,908	5,919	5,533	7,017	7,270	6,596	7,487	6,945	6,666	6,313	6,445
三穂	5,130	6,405	8,659	8,965	8,831	9,755	10,485	10,684	10,599	8,985	9,340
山本	10,191	11,498	13,992	12,432	9,518	9,403	11,051	11,511	12,471	12,273	11,151
伊賀良	25,788	22,374	24,136	23,269	23,478	24,074	37,884	40,420	46,459	42,474	37,926
上村							971	1,160	886	1,146	1,545
南信濃							2,188	5,363	4,853	3,788	3,677
計	698,633	731,872	787,377	805,535	815,396	818,935	860,165	869,970	907,393	930,180	874,499

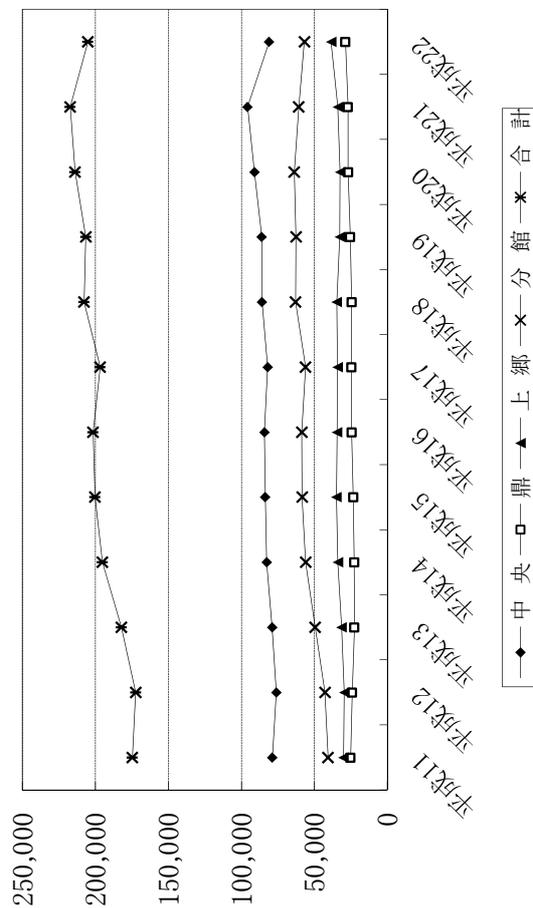
飯田市立図書館利用者（貸出者）数

	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22
中央	78,827	76,021	78,917	82,675	83,671	84,223	81,942	85,787	86,065	91,024	95,748	81,009
県	25,204	24,077	22,561	22,594	23,320	24,361	24,639	24,462	25,364	26,836	26,906	28,720
上郷	30,039	29,520	31,356	33,942	34,935	34,425	34,108	34,684	32,560	32,342	33,922	38,576
分館	40,656	42,728	49,419	55,975	58,387	58,637	56,096	62,908	62,572	63,746	60,739	56,826
合計	174,726	172,346	182,253	195,186	200,313	201,646	196,785	207,841	206,561	213,948	217,315	205,131

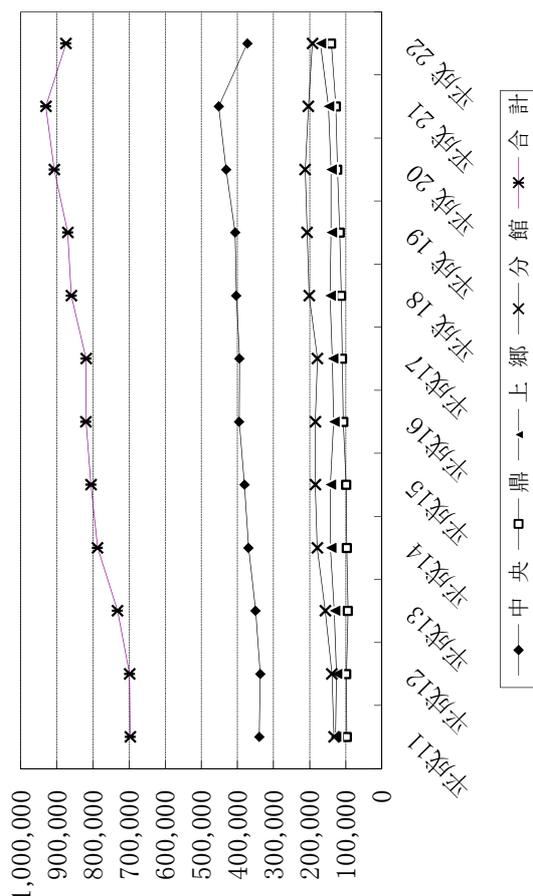
飯田市立図書館貸出冊数

	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	平成22
中央	339,391	336,826	349,536	369,264	380,445	395,003	394,057	403,171	406,133	431,219	451,438	372,118
県	96,723	98,008	93,912	96,848	98,510	106,791	109,616	112,260	116,485	122,916	127,338	139,959
上郷	128,304	125,626	131,737	142,238	142,602	133,493	136,872	143,778	140,357	140,940	148,242	170,366
分館	132,561	138,173	156,687	179,027	183,978	184,166	178,390	200,956	206,995	212,318	203,344	192,056
合計	696,979	698,633	731,872	787,377	805,535	819,453	818,935	860,165	869,970	907,393	930,362	874,499

利用者数の推移



貸出冊数の推移



(3) 年度別障害者用資料利用状況

①カセット・CD貸出タイトル数

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
中 央	4,093	4,052	3,715	3,128	3,160
県	371	393	446	507	647

②相互貸借件数（タイトル数）

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
中 央	357	247	314	276	434

(4) 平成 22 年度 利用が多かった本ベスト 5

	一 般 書	郷土資料	児 童 書	絵 本
1	『1Q84 ①②③』 村上 春樹／著	『いいだ・南信州大好き』 安藤 隆一／編著	『かいけつゾロリ』シリーズ 原 ゆたか／作	『わたしのワンピース』 にしまき かやこ／作
2	『聖女の救済』 東野 圭吾／著	『飯田城ガイドブック』 飯田市美術博物館／編	『ミッケ！』シリーズ ウォルター・ウィック／作	『あっちゃんあがつく』 さいとう のぶ／作
3	『新参者』 東野 圭吾／著	『飯田お練りまつり』 飯田お練りまつり奉賛会／編	『番ねずみのヤカちゃん』 リチャード・ウィルバー／作	『かいじゅうたちの いるところ』 モーリス・センダック／作
4	『神様のカルテ』 夏川 草介／著	『みるよむまなぶ 飯田・下伊那の歴史』 飯田市歴史研究所／編	『エルマーのぼうけん』 シリーズ ルース・スタイルス・ガネット／作	『バムとケロ』シリーズ 島田 ゆか／作
5	『告白』 湊 かなえ／著	『昭和写真大全 飯田・下伊那』 郷土出版社／編	『たんたのたんけん』 中川 李枝子／作	『おいしいのぼうけん』 ふるた たるひ／作

(5) 利用統計数値 (サービス指針)

基礎数値 (平成 23 年 3 月末日現在)

A:人口	104,771	G:図書購入費	43,790,392	M:登録者数	30,301
B:蔵書冊数	755,982	H:図書館費	216,396,952	N:職員数	25
C:受入冊数	38,346	I:利用者数	205,131	O:司書有資格者数	22
D:購入冊数	27,396	J:開架図書冊数	502,998	P:複写サービス	19,558
E:個人貸出冊数	829,884	K:調査相談数	5,405	Q:3館総貸出数	682,443
F:除籍冊数	15,471	L:予約件数	40,746	R:全館総貸出数	874,499

開館日数 (中央図書館 251 日 県図書館 287 日 上郷図書館 286 日)

項目		22 年度	21 年度	21 年度全国平均
市民一人あたり蔵書冊数	B/A	7.2 冊	7.0 冊	3.0 冊
〃 受入冊数	C/A	0.4 冊	0.3 冊	0.1 冊
〃 貸出冊数	E/A	7.9 冊	8.5 冊	5.9 冊
〃 図書購入費	G/A	418 円	370 円	250 円
利用者一人 1 回あたりの貸出冊数	E/I	4.0 冊	4.1 冊	
職員一人あたりの貸出冊数	Q/N	27,298 冊	29,073 冊	
蔵書回転率	R/B	115.6%	125.9%	
開架率	J/B	66.5%	69.3%	
利用者登録率	M/A	28.9%	31.9%	
司書率	O/N	88.0%	84.0%	

◆サービス効果

平成 22 年度購入図書平均単価×市民一人あたり貸出冊数－市民一人あたり図書館費

$$G/D \times E/A - H/A = \text{サービス効果}$$

$$1,598 \text{ 円} \times 7.9 \text{ 冊} - 2,065 \text{ 円} = 10,559 \text{ 円}$$

◆年間相互貸借件数

借受図書 1,379 冊 (中央 808 冊 県 320 冊 上郷 251 冊)

貸出図書 1,597 冊 (中央 1,190 冊 県 71 冊 上郷 336 冊)

◆予約件数 40,385 件 (中央 20,791 件 県 8,303 件 上郷 6,379 件 分館 4,912 件)

◆調査相談件数 5,405 件 (中央 3,257 件 県 861 件 上郷 1,287 件)

◆複写サービス 19,504 枚 (中央 16,442 枚 県 682 枚 上郷 2,380 枚)

◆外国語図書貸出冊数 1,185 冊 (中央 1,009 冊 県 28 冊 上郷 148 冊)

9. 図書館関係団体

「飯伊婦人文庫」 (会員数 200 人)

◆飯伊婦人文庫の歴史

昭和 25 年、県立図書館が館外貸出方式の一つとして始めた、本と母親とを子どもを通じて結ぶ制度は、その後県下各地に県 P T A 母親文庫として広がっていった。県南部の飯田下伊那地方においても、昭和 32 年飯田図書館配本所とし、婦人会と P T A の母親を中心に『飯田婦人文庫』・『飯伊母親文庫』の二つの団体が組織され正式に発足した。昭和 46 年 P T A 組織では子どもの卒業とともに会員も離れていってしまうことと、自主的参加による読書会を充実していきたいとの理由から、婦人会を中心とした組織の一本化をはかり、名称も『飯伊婦人文庫』となった。

読書は基本的には個人的な行為であるが、集団だから読める、みんなと一緒に学べるといった環境づくりをめざして、今日まで多くの活動と会員の育成を行ってきた。

◆飯伊婦人文庫の活動

昭和 32 年の発足当時より 3 本の柱を活動の中心に据えてきた。3 本の柱とは『読むこと』、『書くこと』、『話し合うこと』である。この成果は毎年発行される『読書についての文集』や、各種読書会、他団体（豊橋読書サークル連絡会・中津川読書サークル連絡協議会など）との活発な交流などに現れている。これらの活動が評価され平成 4 年には飯田ムトス賞を、平成 10 年には野間読書推進賞を受賞した。

平成 9 年に出版した『みんなで読もう飯伊婦人文庫 40 年の歴史』は、婦人文庫の歩んできた道を多くの資料をもとにまとめてあり、飯田図書館の図書館史にもなっている。14 年 2 月には『つながり一聞き書き・70 人の女性に聞く読書と人生』を出版し、人の一生と読書の関係を聞き書きによりまとめることで、多くの読書の科学を獲得した。この出版の波及は高齢者学級や中学生との交流に発展した。これらの活動が図書館まつりの『中学生との読書会』に結実し、『高校生との読書会』へと発展していった。その後、働く市民のための『夜の読書会』に発展して、参加者が増え続けている。

飯田下伊那の各地で連綿と続けられてきた読書会を丹念に聞き書きし、3 人以上で読む読書会が人と人のつながりをより深め、質の高い感動を受け取り、それが生きる糧となってきたことを実証したのが平成 19 年 6 月に出版した『みんなとだから読めた～聞き書きによる飯田下伊那地方の読書会の歴史～』である。本をまとめる中で、声に出してみんなで読む「群読」の持つ意味を言葉化し、文学講座や中学校・公民館など様々な場で「群読」を取り入れながら、広めている。この本は読書界に大きな波紋を投げかけ、飯田市歴史研究所の歴研賞奨励賞を受賞した。飯田下伊那読書会交流会が 50 年ぶりが開催され、飯田下伊那読書会連絡会に発展して、現在の活動に至っている。

婦人文庫会員と市民の中に大人の文学に対する要求が高まったのを受けて、図書館と開催する文学連続講座は 4 年目になった。市民の要望に応じて内容を充実させ、年々、市民の参加が増えている。婦人文庫は、「読みつづけることが、生きることだ」をキーワードに読書推進につとめている。

朗読奉仕の会「声の輪」 (会員数 68 人)

視覚障害者の方々へ希望の書籍を録音した「声の本」を作成しているボランティアグループ。昭和 57 年より朗読奉仕ボランティアが中央図書館に立ち上がった。一年間の朗読初心者講習を終了した後、朗読ボランティアとして続けていただける方に随時加わっていただく。飯田下伊那には約 1,000 人の視覚障害者があり、内約 100 人の方が「声の本」を利用している。その方々の期待に応えるべく、平成 23 年から DAISY (ディジー) 図書 (CD 版) の作成を中心に以下の活動を行っている。

「声の本」の作成：[DAISY 図書・テープ図書、の作成。年間約 200 タイトルの作品を作成し現在までに 2,818 タイトルを超えている。DAISY 図書も平成 11 年より取り組みが始められ、現在までに 571 余タイトルが出来上がっている。]

月刊テープの作成と貸出：[視覚障害者と会員との情報交換誌として毎月「声の輪だより」の CD 版及びテープ (46 分 1 巻) 版を作成し、約 70 人の方に郵送による貸出を行っている。]

利用者との交流会：[利用者との意見交換会と相互親睦をはかるための交流忘年会を毎年開催している]。

朗読技術向上：(定例学習会 (毎月第 4 水曜日、第 2 木曜日) の実施と NHK セミナーへの参加と、常に技術向上のための取り組みを行っている。)

質の高い声の本の作成と提供は、声の輪の方々の技術向上へのたゆまぬ努力と、リクエストに対する迅速な対応によって支えられている。また、単に読み手と聞き手の関係だけではなく、視覚障害者の方々の心の支えとなっている。図書館障害者サービスを 25 年以上にわたり支えてきた声の輪は、飯田図書館が県下に誇れるボランティアグループである。

「文章講座」(文章講座同窓会) (会員数 同窓会 71 人)

「文章を書くことと読書することとは深いつながりがある。読みを深めるには書くことは欠かせない。また文章を綴るには多くの本を読むことにもなる。読書会があるのだから文章を書く勉強会も必要ではないか」とのかねてからの願いから“書くことの勉強会”を昭和 57 年 1 月開講した。

まず、第 1 期は新聞社の論説委員をしていた小原謙一氏を講師に迎え、文章についての講義及び作文の添削を中心に行われた。百余名の受講生は毎回レポートを提出し、講師の添削・講評を受け、さらに受講生の作文の中から講義のテキストとして取りあげた作品が地元紙に掲載されるなど活動が定着していった。受講者数も今までに 900 名を超えている。平成 9 年より清水貫司氏を講師に迎え、現在第 29 期として活動中である。

◆文章講座同窓会

文章講座受講者は講座終了後も各期ごと自主的なグループをつくり、書くことの相互学習を続けている。このグループをまとめたものを同窓会といい、この同窓会が主体的に取り組んで編集・発行している作品集として『くらしの中から』がある。

「子どもの本研究会」

(会員数 22 人)

昭和 45 年から東京、大阪で開催された「日本子どもの本研究会」主催の全国児童文化講座がきっかけとなり、子どもの読書への取り組みに触発された当時の図書館職員が中心となって、学校の読書教育担当者などの協力を得て 47 年 7 月に発会された。当時会費 30 円で会の名称も「飯伊子どもの本研究会」とし、学校や保育園・幼稚園の先生、母親など 60 名の会員によってスタートした。読書についての横のつながりができたのはこの時が初めてで、当時としては画期的なことであった。

子どもに本を手渡したいとの願いは、各地に文庫の設立をうながすきっかけとなり、その後、23 もの文庫が市内にできた。文庫の活動はやがて図書館の分館整備の動きへとつながっていった。また、作品研究、作家研究はやがて作家本人から話を聞いてみたいという欲求を生み、子どもたちが本と出会うにはまず周りの大人が本の素晴らしさを知ることが大切、との思いから「子どもの本の学校」が図書館・子どもの本研究会・地域文庫連絡会共催で開設された。

地域の児童文化にも貢献してきた。子どものための総合文化祭をとの願いから、「飯田子ども劇場」や市の社会教育課とともに立ち上げた「飯田子どもまつり」は、現在まで 30 回以上、回数を重ねながら続けられている。

現在、会の規模は縮小しているが、会員の自ら学ぶ姿勢と子どもの本に対する会員相互の取り組みは変わっていない。その時代時代の中で、地域の読書文化を向上させようと図書館とともに歩んできた。それらの活動は外部からも高く評価され、15 年 4 月には文部科学大臣賞を受賞し、会員相互の大きな励みとなった。

また、平成 11 年 5 月より新たな一歩として、会員有志により読みきかせのボランティア活動を開始し、そのための勉強会も行なっていたが、平成 22 年からボランティア活動グループは独自性を重視して独立して活動することとなった。

また、一年間の活動記録としての文集を継続的に刊行したり、子どもの本についての講演会を会独自で年に数回開催したりするなど、会の活動の充実や地域の読書普及に努めている。

「読みきかせボランティアの会」

(会員数 9 グループ 114 人)

平成 13・14 年度の 2 回、図書館の事業で読みきかせボランティア養成のための講習会を行った。その後平成 15 年 7 月に図書館の呼びかけにより、市内で読みきかせボランティア活動を行っているグループと講習会の受講者が立ち上げたグループとで「読みきかせボランティアの会」を発足した。子どもと一緒に絵本の世界を楽しみたい、子どもと本との橋渡しのお手伝いをしたいと願う読みきかせボランティアグループの集まりであるこの会は、他グループとの情報交換をしたり、研修会を行ったりしている。現在の登録グループは、「読みきかせグループ おはなしのたまご」「下久堅おはなしサークル」「まじっくぼけっと」「丸山おはなしの会」「モン・クール」「おはなしくらぶ おおきな木」「はっぴい・ぷれぜんと」「松尾小学校 読書ボランティア おはなしひろば」「たんぼぼの会」の 9 グループである。

なお図書館では、ひとりでも多くの子どもたちに読書の楽しさを知ってもらうために、この会に登録しているボランティアグループのリストを作成し、要請に応じて紹介している。

「おむすびの会」(手づくり絵本の会)

(会員数 17 人)

1981 年(昭和 56 年)夏、我が子の成長記録やつぶやきを書きとめておきたい、また自分自身の絵本を作りたい…との願いから、母親たちが図書館の協力を得て「飯田手づくり絵本の会」を立ち上げた。10 年後に心を込めてにぎるぬくもりあるおむすびにあやかって、「おむすびの会」と名称を変えた。

県内各地の手づくり絵本の会が、共に成長することを願い、横のつながりを持とうと長野県内連絡会を発足させ、その後愛知県、岐阜県へと広がり、現在では 19 の手づくり絵本の会が三県連絡会として活動している。その大きな事業の一つである「手づくり絵本巡回展」も 29 回を数え、15 会場に 200 冊以上の手作り絵本が展示された。一冊一冊手にとって読むことのできる巡回展は、手づくり絵本に直に触れてもらう大変良い機会である。

また、各地区の乳幼児・母親・高齢者学級や、小・中・高校などでも、手づくり絵本の普及に努めている。製本の方法や、表現の技法、作るための心構えやテーマの持ち方など指導に出向くことが増えている。もっと多くの人たちに世界に一冊だけの手づくり絵本の良さを知ってもらいたいと活動している。今後も子どものため、自分自身のために手づくり絵本を作りたいという方々の輪を広げていきたい。

「紅まんさく」(飯田創作童話の会)

(会員数 11 人)

1983 年(昭和 58 年)3 月に中央図書館の講座の一つとして発足した創作童話研究会が当会の前身である。その当時開講されていた「子どもの本の学校」(著名童話作家の講演・講義)で学ぶと共に、自分でも童話を書いてみたいと希望する 80 人余が集まり始められた。

しかし、回を重ねるごとに書くことの難しさから、40 人・・20 人・・と減少し、自主運営するころには 15 人ほどになっていた。会の名称も《紅まんさく》(飯田創作童話の会)と改め、現在にいたっている。

発足後 8 年目に『紅まんさく、童話集 1』を 16 年目に『同 2』を出版した。毎月第 3 木曜日に例会を持ち、作品を発表しあっている。——作品には厳しく、人にはやさしく——をモットーとし、刺激し合いながらもよい仲間作りを実践している。

発足 27 年目にあたる平成 22 年 3 月に『紅まんさく、童話集 3』を出版した。